

「平成27年度予算要求状況」に対する市民意見の内容及び市の考え方

■反映結果

- 1 意見が新規・拡充事業の予算案に盛り込まれているもの
(事業費、事業手法、事業対象、実施回数、実施箇所等)
- 2 継続事業の予算案に盛り込まれているもの
- 3 予算案に盛り込まれていないもの
- 4 予算措置とは関係ないもの

1 人を育てる

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	子ども家庭局	■児童扶養手当について 児童扶養手当の所得制限限度額を引き上げてほしい。	1	児童扶養手当は、国の「児童扶養手当法」に基づいて、全国共通の取り扱いをしております。 市としては、限られた財源の中で、子育て支援全体の数多くの施策について、何を緊急・優先して充実する必要があるかを判断する必要があります。 現時点では、所得制限限度額の引き上げがされる予定はありません。	3
2	子ども家庭局	■子どもの医療費について 子ども医療費を通院も中学卒業まで無料にしてほしい。	2	本市では、現在、通院については小学校就学前まで、入院については中学校3年生までの医療費を助成しています。 安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのために、乳幼児等医療費支給制度が果たしている役割は、重要であると考えています。 そこで、昨年策定した「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」の中で、当制度については、「持続可能で安定的な制度とするため、財源確保の問題も含め、制度のあり方を検討します」としており、現在、検討を続けているところです。	3
3	子ども家庭局	■子どもへの支援について 孫世代の手当てや医療費の援助などが削減されると聞いた。少子化対策のためにも子どもへの支援を手厚くしてほしい。	1	本市では、中学校卒業まで（15歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の児童を養育している方に対し、児童手当を支給しています。 手当額は昨年度から変更はございませんが、児童手当は国の「児童手当法」に基づいて、全国共通の取り扱いをしているため、国の基準を超える手当を支給することは難しいと考えています。 乳幼児等の医療費について、本市では、現在、通院については小学校就学前まで、入院については中学校3年生までの医療費を助成しています。 安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのために、乳幼児等医療費支給制度が果たしている役割は、重要であると考えています。 そこで、昨年策定した「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」の中で、当制度については、「持続可能で安定的な制度とするため、財源確保の問題も含め、制度のあり方を検討します」としており、現在、検討を続けているところです。 今後も、このプランに基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人一人が家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。	2
4	子ども家庭局	■認定こども園について 認定こども園を増設してほしい。	1	認定こども園は、幼稚園及び保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況及びその変化等に関わらず、柔軟に子どもを受け入れられる施設です。 本市では、教育・保育施設の利用状況や利用者の希望とともに、幼稚園、保育所等事業者の意向などを踏まえ、認定こども園への移行支援・普及に努めていきます。	2
5	家庭子ども局	■保育所について 保育所を増やしてほしい。	2	保育所が特に不足する地域について、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増を行い、年間を通じた待機児童の解消に努めています。	1
6	子ども家庭局	■保育所について 希望の保育所に入れるか不安です。	1	一保育所において、その保育所の定員又は受入能力を超える利用の申込みがあった場合は、保護者や子どもの状況に応じて、より保育を必要とする子どもから優先して利用できるように、利用調整（入所選考）を実施することとなります。 同時に、保育を必要とするより多くの子どもが保育を利用できるように、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増に取り組んでいます。	2
7	家庭子ども局	■保育士について 保育士の数を増やしてほしい。	1	保育士資格を取得見込の学生等を対象とした就職説明会や、保育士資格等を持ちながら、現在、職についていない人材を活用するための研修を実施し、さらなる人材の確保対策に取り組めます。	2
8	家庭子ども局	■保育士の給料について 保育士の給料が安く業務がハードで見合わない。	1	平成25年度より国の補助制度を活用しながら、保育士等の処遇の改善に取り組む民間保育所に対し、人件費の補助を行ってきました。 この補助制度をベースに、平成27年度からは職員のキャリアアップを行う保育所への補助の増額などの拡充を行うことで、さらなる保育士等の処遇改善に取り組んで参ります。	1
9	家庭子ども局	■病児保育について 病児保育の取組にも予算をつけてほしい。	1	平成26年度は、家庭での保育が困難な病児中、または病気やけがの回復期にある児童を一時的に預かるための病児・病後児保育施設を9施設から11施設に増やしました。引き続き、現在の病児・病後児保育の利用状況や保護者ニーズを踏まえながら実施します。 また、適切な利用について、保護者にパンフレットを配布するなど啓発を行います。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
10	子ども家庭局	■子育て支援について 子育て支援を充実させ、育児がしやすい街づくりをしてほしい。	2	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【計画期間：平成27年～平成31年度】」を策定しました。 この計画に基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人一人が家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。	2
11	子ども家庭局	■子育て支援について 子育て支援として、ベビーシッター等への補助などが必要ではないでしょうか。	1	本市では、「子育ての手助けをしてほしい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」が会員となって、会員間で子どものあそびや送迎などの相互支援活動を行う「ほっと子育てふれあい事業」を行っています。 また、ひとり親家庭を対象として、一時的に生活援助や保育サービスが必要なときに生活を支援する「母子家庭等日常生活支援事業」も行ってまいります。 今後も子育て支援の充実に向けてまいります。	3
12	子ども家庭局・教育委員会	■保育、教育関連の予算について 全国も同じですが、子どもは宝です。保育、教育には惜しまずに予算をつけてほしい。学童保育は充実してきたが、仕事と育児の両立は難しいです。	1	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【計画期間：平成27年～平成31年度】」を策定し、この計画に基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人一人が家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。 放課後児童クラブ（学童保育クラブ）については、現在、設置が必要とされるすべての小学校区で設置し、希望する全ての児童を受け入れており、児童への対応を充実するため、指導員の配置基準の見直しや放課後児童クラブアドバイザー、巡回カウンセラーの派遣等を実施します。今後も安心して利用できるよう、放課後児童クラブの充実に努めます。 また、教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」「北九州市生涯学習推進計画」を策定し、これに基づき各施策を推進しており、子ども教育の分野では、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進してまいります。生涯学習の分野では、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図ります。 本市としましては、今後も限られた財政状況の中で、子育て支援に努めてまいります。	2
13	子ども家庭局・教育委員会	■子ども関連の予算について 子どもたちのために予算を使ってほしいです。	1	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【計画期間：平成27年～平成31年度】」を策定し、この計画に基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人一人が家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。 また、教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」「北九州市生涯学習推進計画」を策定し、これに基づき各施策を推進しており、子ども教育の分野では、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進してまいります。生涯学習の分野では、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図ります。	2
14	子ども家庭局	■子育て支援について 子育て支援の制度は少しやりすぎているように感じる。本当に必要な人だけ支援する制度にしてほしい。	1	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【計画期間：平成27年～平成31年度】」を策定しました。 この計画は、市民17,000人へのニーズ調査や子育て支援に関する有識者などから構成された子ども・子育て会議において、意見をいただきながら作成したものです。 この計画に基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人一人が家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。	2
15	子ども家庭局	■学童保育について 学童保育を充実させ、親が安心して働ける環境づくりを進めてほしい。	1	現在、設置が必要とされるすべての小学校区で放課後児童クラブ（学童保育クラブ）を設置し、希望する全ての児童を受け入れています。 また、児童への対応を充実するため、指導員の配置基準の見直しや放課後児童クラブアドバイザー、巡回カウンセラーの派遣等を実施します。今後も安心して利用できるよう、放課後児童クラブの充実に努めます。	2
16	子ども家庭局	■子育てコミュニティについて 高蔵市民センターの子育てコミュニティ等の回数を増やしてほしい。	1	本市では、育児サークル等の活動に対して補助金を交付しているほか、地域の子育てコミュニティに関する情報を「育児サークル・フリースペース情報」として冊子・HPで発信するなど、その活動支援に取り組んでいます。 活動回数等の内容につきましては、各団体の自主性に委ねているところではありますが、今後とも、子育てコミュニティの活性化に向けた支援の充実に向けて努めてまいります。	4
17	子ども家庭局	■赤ちゃんの駅について 赤ちゃんの駅を増やしてほしい。	1	「赤ちゃんの駅」は、公共施設だけではなく、民間事業者にも協力をいただいています。引き続き、登録施設の増加に向けた協力依頼を行い、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりに努めてまいります。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
18	子ども教育委員会	■子どもの遊び場について 体育館など子どもたちの遊び施設に予算を使ってほしい。	1	本市では、市の東西に「子育てふれあい交流プラザ」（小倉北区）と「子どもの館」（八幡西区）の全天候型子育て支援拠点施設を設置し、子育て家庭の親と子ども（概ね3歳未満の乳幼児）が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができる親子ふれあいルームを各区に1か所設置しています。このほか、満18歳未満の児童と保護者、子ども会や母親クラブなどが利用できる児童館を市内に42館設置しています。 また、地域スポーツの普及及び児童の安全な遊び場確保のため、学校教育に支障のない範囲で、昭和40年度より学校施設開放事業を行っており、市立小学校の運動場・体育館を当該小学校区の児童の遊び場として土・日・祝日、長期休業日の9:00～17:00を開放しております。 今後も、より多くの子どもたちに利用していただけるよう、より快適な施設の運営に努めてまいりますので、有効にご活用いただければと考えています。	2
19	子ども家庭局	■子どもの遊び場について 子どもが安全に遊べる所を増やしてほしい。	1	本市では、市の東西に「子育てふれあい交流プラザ」（小倉北区）と「子どもの館」（八幡西区）の全天候型子育て支援拠点施設を設置しています。 また、子育て家庭の親と子ども（概ね3歳未満の乳幼児）が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができる親子ふれあいルームを各区に1か所設置しています。 このほか、満18歳未満の児童と保護者、子ども会や母親クラブなどが利用できる児童館を市内に42館設置しています。 これらの施設では、利用される方が安心して過ごしていただけるよう、日々、点検や見守りを行っています。今後も、より快適な施設の運営に努めてまいりますので、有効にご活用いただければと考えています。	2
20	子ども家庭局	■少子化について 少子化問題について真剣に検討してもらいたい。	1	本市では、〔1〕結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築（2）結婚に向けた情報提供（3）妊娠・出産に関する情報提供（4）結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備（5）少子化対策への前向きな機運の醸成など、結婚から子育てまでの「切れ目ない支援」を行うことにより、家庭や地域、家族、企業、行政など地域社会全体の子育て力を高め、子どもが健やかに成長し、市民一人ひとりが家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できるまちづくりの更なる推進に努めてまいります。	2
21	子ども家庭局・建築都市局	■少子化対策等について 少子化対策が不足しています。ギラヴァンツに100億使うのであれば保育料の軽減などの充実を図ってもらいたい。	1	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【計画期間：平成27年～平成31年度】」を策定し、この計画に基づき、家庭や地域、学校、企業、行政といった地域社会全体の子育て力を高め、全ての子どもが健やかに成長し、市民一人ひとりが家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びを実感できる「子育てで日本一を実感できるまち」の実現に努めてまいります。 また、本市の保育料につきましては、基本的に国が示す徴収基準に基づいて定められていますが、子育て中の家庭の負担が大きくならないように、国が定める保育料の基準より低く設定しています。 なお、スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すコンサートやイベントの開催など、子どもを始め市民に夢と感動を提供するために必要な施設と考えています。 本市は今後も子育て支援に係る経済的負担の軽減に努めて参ります。	2
22	子ども家庭局	■母子家庭の支援について 母子家庭の支援を充実させてほしい。	1	区役所の子ども・家庭相談コーナーでは、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行っています。 母子家庭等の経済的負担の軽減を図るため、児童扶養手当の支給やひとり親家庭等医療費支給制度による医療費の自己負担額を助成するとともに、母子父子寡婦福祉資金貸付制度を実施しています。 また、母子家庭等に関しては、就業による経済的自立を促進することが重要であると考えており、母子・父子福祉センターにおける就業支援や、母子家庭向けの合同就職説明会等に取り組んでいます。 今後も、母子家庭等が抱える様々な悩みや不安の相談に対応するとともに、その実態に応じた必要な支援を行ってまいります。	2
23	子ども家庭局	■母子家庭の就職支援について 母子家庭の就職支援を充実させてほしい。	1	母子家庭等に関しては、就業による経済的自立を促進することが重要であると考えています。本市では、母子・父子福祉センターにおいて、就業支援講習会、各種相談等、ハローワークと連携した就業支援の実施や、就労相談に応じるキャリアカウンセラーを配置するなど、就業支援体制の充実を図っています。 また、母子家庭等に対し理解のある企業への就職の場を提供する合同就職説明会の開催や、看護師等就職に有利な資格を取得する際に経済的支援を行う給付金の支給など、様々な支援を行い、母子家庭等の経済的自立の促進を図っています。	2
24	子ども家庭局	■ひとり親家庭の医療について ひとり親家庭の医療における補助を18歳以上の学生には継続してほしい。	1	本市では、母子家庭の母及び児童、父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成しています。 当制度は、福岡県の制度と同じ制度で運用しており、また、県内のほとんどの市町村も同様です。 従いまして、現在のところ、見直すことは考えていません。	3
25	教育委員会	■子どもひまわり学習塾について 「子どもひまわり学習塾」について予算を拡充し実施規模を拡大してほしい。	1	「子どもひまわり学習塾」は、平成26年度から、子どもたちの学習習慣や基礎的・基本的な学力の定着を図るため新たに開始した事業であり、昨年度は、小学校31校、中学校11校で実施しました。 今年度は、さらに実施校を増やす予定にしており、中学校については、公共施設で実施する拠点型をあわせて、全校を対象とした実施を目指しています。 今後も、より多くの子どもたちに学習機会を提供できるよう、実施方法を検討しながら事業を展開していきたいと考えています。	1

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
26	教育委員会	■小学校でのエアコン設置について 中学校にエアコンを設置する予算を計上しているが、早急に小学校への設置もお願いしたい。	1	本市では、平成26年8月に小中学校、幼稚園の普通教室にエアコンを設置する方針を定め、既に中学校5校で先行実施しています。 平成27年度は、残りの中学校51校分について実施予定としており、中学校全校の普通教室に設置が完了するのは、平成28年の夏前の予定です。 中学校へのエアコン設置が完了すれば、順次小学校へのエアコン設置に取り組んでまいります。	1
27	教育委員会	■教職員数について 小学校の先生の人数を増やしてほしい。	1	小学校に配置する教員数は、法律を踏まえ、福岡県教育委員会が定めています。そのため、本市としては教員の配置の充実を図るため、国や県に対して例年強く要望を行っているところです。今後とも、教員の配置充実に向け、要望を行ってまいります。 本市独自の予算で少人数指導、専科指導、生徒指導、いじめ問題対応等を行うため、これまで市費講師の増員を図ってきました。今後とも学校の課題等に応じて適切に配置して参ります。	1
28	教育委員会	■スクールバスについて 土、日、長期休業中の運営などスクールバスの活用はできないでしょうか。	1	本市では、特別支援学校において、車椅子や歩行補助具を使用して通学する児童生徒や病弱虚弱な児童生徒の、通学上の安全確保、身体的負担を軽減の配慮からスクールバスを運行しており、一般に貸し出すことは難しいと考えております。 なお、土、日、長期休暇については、整備や点検を行うほか、不定期的で、学校の校外学習等の際に活用しています。	4
29	教育委員会	■家庭教育学級の充実・推進について 子育て広場に参加する子育て世代の親も対象とするなど、親育ちの機会にもっと力を入れてほしい。「人づくり」こそが全ての問題解決に通じる次代への大きな課題だと思う。国同様に「まちづくり、人づくり、仕事づくり」を指針に掲げながら、どの部局も具体的な考え方を述べておられないことに不安を感じます。	1	家庭教育学級は、PTAの家庭教育学級担当委員が中心となり、市民センターと一緒に企画・運営するものです。小・中・特別支援学校のほか、幼稚園や保育所でも行っています。 子育て中の方々が、自分達が学びたいこと、知りたいことを自由に企画・運営し共に学習しています。 本市では、家庭教育学級がより充実し、多くの方に参加していただけるものとなるよう支援しています。 平成26年度からは、幼児の保護者を対象とした「家庭教育講座」を市民センターで開催し、小学校入学前のより早い段階から家庭教育の重要性を学ぶ機会を設けるとともに、保護者の不安解消や仲間づくりの場を提供しています。 また、家庭教育学級は、学級委員として市民センターで活動した後、その経験を生かし、市民センターでボランティア活動を行う方も多数おり、地域の人材育成にもつながっています。 今後も子どもの発達段階に応じて、関係部局と連携して家庭の教育力向上に取り組んでいきます。	2
30	保健福祉局	■高齢者問題について 北九州市が行っている高齢者向け体操（ひまわり太極拳など）は社会参加と運動、人の触れ合いがあり、生活に活気を呈している。これからも可能な限り元気に過ごすチャンスを提供してほしい。	1	高齢の方などが身近な場所で自主的に健康づくりや介護予防に取り組めるよう、本市が開発した「ひまわり太極拳」や「きたきゅう体操」の教室の開催を通じて、介護予防の普及・啓発を行っています。また、地域で仲間が集まって継続的に健康づくり・介護予防活動が行えることを推進するため、普及員の養成や自主グループ活動の支援等にも取り組んでいます。今後とも、地域で気軽に参加することができる場づくりを通じて、介護予防の普及・啓発を更に推進してまいります。	2

2 きずなを結ぶ

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	スポーツ文化市民文化局	■防犯カメラについて 新規事業として、防犯カメラの普及促進に向けた取り組みの推進事業を計上されていますが、防犯カメラの制度化を積極的に推進し、地域住民のめざす安全・安心なまちづくりに向けた施策を期待しています。	1	北九州市安全・安心条例の趣旨に基づき、市内における防犯カメラの設置促進を図るため、市民等が設置する防犯カメラの一部費用を支援する補助制度も視野に入れて検討していきたいと考えています。	1
2	スポーツ文化市民文化局	■まちづくりについて 暮らしやすい安全なまちづくりを推進してほしい。	1	北九州市安全・安心条例に基づき、「行動計画」を策定し、政令市の中でトップ3に入る安全な都市を目指して、さまざまな事業を総合的かつ計画的に展開していきます。日本トップクラスの安全・安心なまちづくりに向け、地域の「見守りの目」の拡大を図り、市民や事業者、学生等の自主防犯活動の活発化を図ります。 また、防犯の視点も加えた道路や公園等のモデル事業や防犯カメラの設置促進など、安全・安心な環境の構築を図ります。	1
3	危機管理室	■震災復興について 東北の災害支援の協力を今後も継続してほしい。	1	平成27年度も東日本大震災の被災地である釜石市への職員派遣等、被災地への支援を引き続き行います。	2
4	消防局	■消防団について 消防団員の防火衣のゴム長靴は消防署員のようなスポン型がよいのではないのでしょうか。	1	消防団員の防火衣の仕様については、市内の消防団から各2名が委員として参加した消防団員服制検討委員会で、平成24年に現在の仕様に決定されました。 ゴム長靴は、消防団の活動内容や熱中症対策等を考慮し導入しています。	3

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
5	危機管理室	■昔根豊岡地区公園事業について 広域避難地としているが津波の来る海方向に逃げる人はいるのでしょうか。山側へ非難するのが本能です。	1	広域避難地については、広域住民の最終避難地として概ね10ha以上の都市公園等を指定しています。この広域避難地をはじめ、予定避難所（市民センターなど）、一時避難地（学校、公園など）を指定する場合には、災害種別ごと（洪水、内水氾濫、土砂災害、地震、津波、高潮、大規模な火事）の適応について確認を行っており、津波に関しては標高が想定した津波高より低い場合は、津波の指定を行っていません。 津波の避難については、できるだけ早く、高いところへ避難することが原則ですが、逃げ遅れた場合は、近くにある少しでも高い頑丈な建物、高い場所へ駆け上がるのが重要です。 そのため沿岸部の避難所、避難地であっても標高が想定した津波高より高い場合には、避難に時間のかかる人や逃げ遅れた人などには、有効な避難場所と考えます。	4
6	保健福祉局	■医療費負担について 医療費負担を減らしてほしい。	1	本市の国民健康保険料は、病気やけがに対する保険給付費の増減に合わせて設定しています。 一方で、高齢化の進展や医療機関が充実していることなどから、医療費が平成25年度決算で政令市の中で2番目に高く、一人当たり約37万円となっています。 このため、本来であれば一人当たりの保険料は、政令市の中でも高い水準となるどころ、約148億円の市の財源を投入し、被保険者の保険料の軽減に努めているところであり、ご理解いただきたいと考えております。	2
7	子ども保健福祉局・家庭局	■医療について 高齢者・幼児の医療の見直しをしてほしい。	1	後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者等が加入する制度で、県内のすべての市町村が加入する「福岡県後期高齢者医療広域連合」が県単位で財政運営を行っており、本市はこれまで、可能な限り保険料の上昇を抑制し、高齢者が安心して医療を受けられるよう、広域連合や国に対して要望してきました。今後も制度の動向を注視し、広域連合や国に意見・要望を行ってまいりたいと考えています。 また、本市では、現在、通院については小学校就学前まで、入院については中学校3年生までの医療費を助成しており、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのために、乳幼児等医療費支給制度が果たしている役割は、重要であると考えています。そこで、昨年策定した「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」の中で、当制度については、「持続可能で安定的な制度とするため、財源確保の問題も含め、制度のあり方を検討します」としており、現在、検討を続けているところであります。	3
8	保健福祉局	■高齢者医療について 老人のための医療費（特に入院）にもっとお金を使ってほしい。	1	後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者等が加入する医療制度で、県内のすべての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が主体となって運営を行っています。 本市はこれまで、広域連合や国に対して、高齢者の保険料や一部負担金などの負担が過度なものとならないよう十分に配慮することを要望してきました。 今後も、国において、必要な制度の改善が図られるものと思われませんが、本市としても、高齢者が安心して医療を受けられるよう、制度の動向を注視してまいりたいと考えています。	3
9	保健福祉局	■骨粗しょう症検査について 骨粗しょう症の早期発見・早期治療のため、一定の年齢者に骨粗しょう症検査の無料クーポンを配布してはどうでしょうか。	1	本市の骨粗しょう症検査は、18歳以上の方に受診料1,000円にて市民センターや区役所等で集団検査を行っております。 国の実施要領が40歳以上の女性を対象とする中、本市では18歳以上の市民に拡大し、若い時から検査を受ける機会を増やすことで、生活習慣の改善につなげています。 無料クーポンについては、国の補助制度を利用して実施していますが、ご提案の骨粗しょう症検査は、補助の対象となっていません。このため、骨粗しょう症検査については、現行制度の周知啓発を一層充実させ、受診促進に努めていきます。	3
10	保健福祉局	■高齢者施設について 高齢者が悲しい思いをしないように、施設への助成を考えてほしい。	1	本市では、介護施設や事業所の人材確保を支援するための様々な取組みや、単独では研修実施が困難な介護事業所等への支援を行うため、介護サービス従事者研修を実施しており、今後も介護施設や事業者への支援を引き続き行っております。	2
11	福祉保健局	■高齢者施設について 高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）を増やしてほしい。	4	特別養護老人ホームにつきましては、入所申込者の状況や今後の高齢化の推移等を踏まえ、引き続き整備を行なっております。 また、グループホームなど、さまざまな受け皿の整備についても進めてまいります。	2
12	保健福祉局	■介護について 高齢者が多いのに十分なサポート体制が取れていないので介護を充実してほしい。	2	介護保険のサービス利用料については、自己負担額1割で利用でき、残りを公費（税金）と保険料（それぞれ半分ずつ）で賄っています。また、利用者負担を軽くする制度として、1ヶ月の利用者負担額が一定の上限を超えたときに支給される「高額介護サービス費」や市民税非課税世帯の施設入所者等の食費や居住費を軽減する制度等があります。 このほか、介護保険サービス以外のものとして、市民税非課税世帯で寝たきり等の高齢者へのおむつ給付サービス助成などを実施しています。	2
13	保健福祉局	■介護保険について 介護保険の手続きが難しいと思います。	1	介護保険制度の趣旨や仕組み、サービスの種類や利用方法、相談窓口などを記載したパンフレットやしおりを区役所や出張所、地域包括支援センター等で配布するほか、65歳になられた時や要介護認定を通知する際に個別に送付しています。 今後ともわかりやすい広報・周知に取り組んでまいります。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
14	保健福祉局	■介護保険について 介護保険の制度が変わって負担が増えたので戻してほしい。	1	介護保険制度は、介護が必要な方を社会全体で支えていくという考え方に基づき、負担と給付の関係が明確な社会保険方式を採用しています。 今回の介護保険制度の改正は、「サービスの充実」と、制度の持続可能性を確保するための「重点化・効率化」を一体的に行うものとなっています。 具体的には、上昇する保険料を抑制していくために、一定以上所得者の利用者負担の見直し（1割負担から2割負担）や、消費税による公費を投入した低所得者の保険料軽減強化などがあります。 また、本市においても、保険料の上昇を抑制するための取り組みとして、保険料剰余分の積立である介護給付準備基金を活用してまいります。	3
15	保健福祉局	■介護保険について 介護保険等は掛け捨てにならないよう家族に1～2割程度返してほしい。	1	介護保険制度は、介護が必要な方を社会全体で支えていくという考え方に基づき、負担と給付の関係が明確な社会保険方式を採用しています。 こうした制度の趣旨をご理解いただきたいと考えています。	3
16	保健福祉局	■介護保険について 介護保険料の等級や額の認定に矛盾を感じます。少しの収入の違いで等級が変わったり症状が重くても軽い認定しか受けられません。	1	介護保険料は、負担能力に応じた保険料段階を設定することとなり、本市においては、よりきめ細やかな保険料設定となるよう、国が標準として示している9段階よりも多い12段階としています。 認定審査は、全国一律の基準に基づき、公平公正に実施しています。今後とも認定調査員、かかりつけ医、認定審査委員の研修等に努め、公平公正な介護認定を実施してまいります。	4
17	保健福祉局	■介護認定等の基準見直しについて 障害者や介護認定の基準を見直してほしい。	1	障害者の心身の状態を総合的に示す基準の「障害程度区分」については、平成25年度に施行された障害者総合支援法において、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す「障害支援区分」に見直されました。さらに、国では、平成27年度を目途に、「障害支援区分」の認定を含めた支給決定の在り方についても検討するとしており、今後も基準の見直しを図られることとなっています。 介護認定審査は、全国一律の基準に基づき、公平公正に実施しています。今後とも認定調査員、かかりつけ医、認定審査委員の研修等に努め、公平公正な介護認定を実施してまいります。	4
18	保健福祉局	■在宅介護の支援について 在宅での支援が必要な高齢者に必要な介護保険サービスを紹介し、利用しやすい体制を整えてほしい。	1	地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者の保健・医療・福祉の「総合相談窓口」である地域包括支援センターの機能強化を図ります。 具体的には、市民の身近なところでの相談・情報提供を行うため、地域包括支援センターの職員が全ての市民センターを巡回し、曜日や時間を定めて巡回相談を開始します。 また、今後もより一層、市政だより等で地域包括支援センターの周知に取り組みます。	1
19	保健福祉局	■高齢者支援について 高齢者のケアなどをもっと身近にしてほしい。	1	高齢者が住みなれた場所で安心して生活できるよう、身近な場所で相談ができる体制づくりを進めます。 高齢者の保健・医療・福祉の「総合相談窓口」である地域包括支援センターの職員が全ての市民センターを巡回し、曜日や時間を定めて巡回相談を開始します。 また、今後もより一層、「出前主義」で訪問し、身近な相談に取り組みます。	1
20	保健福祉局	■生活保護について 生活保護の認定にあたっては、きちんと調査をし、もう少し厳しくしてほしい。	2	生活保護は、利用し得る資産、能力その他あらゆるものを最低限度の生活維持のために活用することを要件としており、国の実施要領には稼働能力がある場合にはその能力を最低限度の生活維持のために活用することを求めています。 保護申請があった場合は、調査をしっかりと行い、保護の要否を慎重かつ厳正に行った上で決定しています。	4
21	保健福祉局	■生活保護費の用途について 生活保護受給者でパチンコ等をして遊んでいるらしい人の話を聞きます。毎年確認してチェックできているのでしょうか。	1	ケースワーカーは定期訪問等により生活保護受給者の生活状況等の調査を行っていますが、その中で車に乗っている等の疑いがあった場合には、不正受給の疑いがあるケースの調査等を行うため設置した「生活保護適正化推進調査チーム」と連携の上、調査を行います。	2
22	保健福祉局	■生活保護の不正受給について 不正受給調査のために市職員OBを採用してほしい。	1	平成26年度より、不正受給防止対策員（警察OB）の下に適正化調査員（ケースワーカー経験者）を配置し、「生活保護適正化推進調査チーム」を設け、不正受給が疑われるケースの調査等の徹底を図っています。	2
23	保健福祉局	■生活保護制度の見直しについて 若者は受給期間に制限を設けてほしい。	1	日本国憲法第25条に規定する理念に基づき制定されている生活保護法は国が定めたものであり、本市において年齢等を基準に受給期間を制限することはできないこととなっております。	4
24	保健福祉局	■生活保護世帯への適切な処遇について 不正受給の防止も大事ですが、生活保護世帯に必要な物の保有を認めるなど適切に処遇してほしい。また、生活保護の基準見直しについても厳しすぎると思います。	1	生活保護制度では、健康で文化的な最低限度の生活に必要な給付を行っており、一般世帯に普及しているものは保有することが出来ることとなっています。 また、生活保護の基準見直しは、昨今の経済情勢や消費動向等を踏まえて厚生労働大臣が定めた基準に基づいて行うものです。	4

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
25	保健福祉局	■生活保護の就労支援について 求人数のある他県（福島県など）の仕事も多く紹介してほしい。	1	原則、生活保護受給者への就労支援については本人の健康面、職歴、希望職種・勤務条件等を考慮しながら、ケースワーカー、就労支援専門員、キャリアカウンセラー等が連携の上、丁寧に行っています。その中、本人の意向も踏まえ、他県への出稼ぎ等に就くこともあります。	2
26	保健福祉局	■生活保護の就労支援について 生活保護受給者への就労支援については、ハローワークのほかに、キャリアカウンセラーや求人開拓員をもっと活用してほしい。	1	生活保護受給者への就労支援については、各福祉事務所保護課にキャリアカウンセラー、求人開拓員を配置し、キャリアカウンセラーが支援対象者との面談で希望職種や勤務条件等を聞き取り、求人開拓員がそれぞれにあった求人を開拓、マッチングさせていく支援方法も積極的に行っています。	2
27	保健福祉局	■生活困窮者自立支援事業について 生活困窮者自立支援事業については、公費を充てる以上、成果をあげることが求められます。前年度実施したモデル事業の課題を多角的かつ公正に検証し、速やかに事業を開始してほしい。事業を委託する場合は、実績などを中立的な観点で審査した上で委託先を選定してほしい。生活困窮者が事業に対して信用を得られ、相談・自立につながるよう内容を充実させてほしい。	1	平成27年度の生活困窮者自立支援事業につきましては、前年度実施したモデル事業を検証し、4月1日から開始しております。事業実施の手法につきましては、市直営部分と民間団体のノウハウを生かす委託部分がございませう。業務委託につきましては、実績などを中立的な観点で審査・選定し、地方自治法施行令及び、北九州市業務委託に係る随意契約ガイドラインに基づき、契約しております。今後とも、生活困窮者の自立支援に取り組んでまいります。	1
28	保健福祉局	■生活困窮者支援について 生活困窮者支援の予算を整備してほしい。	1	生活困窮者への支援につきましては、平成27年度の生活困窮者自立支援事業として、前年度実施したモデル事業を検証し、120,300千円の予算計上を行っております。また、4月1日から生活困窮者自立支援法が施行されることに伴い、平成27年度当初から、当該事業を開始しております。今後とも、生活困窮者の自立支援に取り組んでまいります。	1
29	市民文化スポーツ局	■障害者スポーツについて 障害者のスポーツセンターを増やしてほしい。	1	地域における障害者スポーツのニーズを踏まえ、市内の体育館やプール等を利用した、巡回型のスポーツ教室、水泳教室を実施しています。また、市内の体育施設におけるトイレの洋式化や手摺の設置などユニバーサルデザイン化を段階的に進め、誰もが利用しやすい施設の整備を図るなど、身近な地域でスポーツができる環境の整備に努めています。	2
30	保健福祉局	■障害者スポーツについて 国際車椅子バスケットボール大会と障害者芸術祭の連携を強化してはどうでしょうか。	1	平成26年度には、国際車椅子バスケットボール大会会場において障害のある方の作品の展示、障害者芸術祭のチラシの配布を行い、障害者芸術祭には多くの市民に会場いただきました。今後の両事業の連携については関係機関の意見を踏まえ、検討して行きたいと考えています。	2
31	保健福祉局	■障害者のぬくもりプロジェクトについて 障害者のぬくもりプロジェクトを個人にも開放してはどうでしょうか。	1	NUKUMORI（ぬくもり）プロジェクト推進事業は、平成25年度から、障害福祉サービス事業所に対して、魅力ある製品の開発、販路の拡大など、事業所等を積極的に支援する取り組みです。今後、在宅の障害者など個人の参加についても検討してまいります。	3
32	保健福祉局	■障害者支援等について 障害や病気を持つ家族を抱えており将来が暗い。明るくなるような施策がほしい。	1	北九州市では、平成24年2月に策定した「北九州市障害者支援計画」に基づき、「障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくり」を目指して、様々な施策を実施しています。また、平成27年3月には、現行の「北九州市障害者支援計画」策定から3年が経過したことから、3年間の国の法整備への対応と北九州市の新たな取り組みを「北九州市障害者計画【拡充版】」として追記しました。その中で、障害のある方の家族の介護負担の軽減や、障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせる社会の構築に向けて、乳幼児期から学齢期、成年期、高齢期まで一貫した支援を行うなど、障害者を取り巻く環境の変化を踏まえながら、今後とも総合的な支援を進めてまいります。	1
33	保健福祉局	■健康のための施設について 健康のための施設を整備してほしい。	1	市民一人ひとりが認知症の予防や早期発見が重要であることを理解し、それらの活動を実践するために、認知症支援・介護予防を総合的に支援する拠点施設の設置を予定しています。	1
34	保健福祉局	■敬老祝金について 敬老祝金は、75歳、85歳、90歳で受領していたと思いますが、廃止されたと聞きました。是非、復活してください。	1	敬老祝金については、平均寿命の延伸、他都市の状況、配布業務の負担などを踏まえて、88歳と100歳の節目で長寿をお祝いする「長寿祝金」として見直しを行いました。「長寿祝金」への見直しとともに、今後も引き続き、市民ニーズの高い「高齢社会対策」の一層の強化を図ります。	3

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
35	保健福祉局	■地域における声かけ等について 孤独死を防ぐためにも地域内の声かけ・連携・見回りなどの対策を充実してほしい。民生委員も1人では足りない地区もある。	1	本市では、平成20年度から、いのちをつなぐネットワーク事業を開始しています。民生委員、自治会のボランティアを始め、市内の民間企業・団体等が、「見つける」「つなげる」「見守る」をキーワードに、支援が必要な人が孤立しないよう地域全体で見守る仕組みを拡げています。 さらに、見守りの網の目を細かく強化できるように努めてまいります。 また、民生委員の負担軽減策として、定数に関する要望を取り入れ、地域の実情にあった配置を行う等、活動しやすい環境の整備を行っています。 今後、欠員問題等の課題解決に取り組んでいきます。	2
36	子ども家庭局・総務企画局	■子育て中の就業支援について 子育て中の母親が働きにくい。仕事と家庭（育児）を両立できるようなサポート体制の充実や就業支援してほしい。	1	保護者の多様な保育ニーズに応えるため、延長保育・一時保育といった特別保育や、病児・病後児保育に力を入れています。 本市では、就職や再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成を支援し、幅広い分野で女性が働きやすい環境の整備を図るための施策を実施しています。 また、男女を問わず、子育てや介護などと仕事の両立の実現に向けた環境の整備を進めるため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する広報・啓発を行っています。 今後、女性が活躍する社会づくりを進めてまいります。	2
37	総務企画局	■女性活用について 積極的に女性活用に取り組んでいるモデル企業を公募し、優遇措置や補助金を与えるなどして企業を後押しすることで、地方創生の北九州モデルを目指すべきです。	1	本市においては、誰もが多様な働き方や暮らし方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、企業等の取組支援や幅広い広報啓発事業に取り組んでいます。 また、子育て支援や男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む企業や個人を表彰し、その取組みを広くPRすることで、市民や企業等の意識の向上を図っています。 なお、受賞者に対しては、本市の中小企業融資制度の申し込みや、市における物品等供給契約の入札参加資格審査、建設工事入札参加資格審査、公共工事の総合評価方式での入札において、配慮しています。 今後、先進的な取組みを参考にしながら、女性が活躍する社会づくりを進めてまいります。	1
38	子ども家庭局	■北九州市男女共同参画推進フォーラム事業について 北九州市男女共同参画推進フォーラム事業について、素人管理に委ねることなく、当初の目的に照らし、事業の趣旨を検証する必要があると思う。	1	北九州市男女共同参画推進フォーラム事業については、「北九州市女性団体連絡会議」との協働で毎年開催しています。地域フォーラムについては、講演会やパネルディスカッション、PR事業については、少人数での意見交換などを行い、内容については男女共同参画の視点を加味した子育てやまちづくりなど多岐にわたるテーマで開催しています。 実施にあたっては、計画書の提出を受け、内容・テーマを確認するとともに、報告書についても作成しています。今後男女共同参画の推進に向けて、いただいたご意見を踏まえ、広報啓発を進めてまいります。	4
39	子ども家庭局	■ムーブ駐車場について 周辺の駐車場と比べてムーブ駐車場の料金が安い。	1	ムーブの地下駐車場の利用料につきましては、他の市立施設の駐車場との均衡や、近隣の複数の民間駐車場の状況等を総合的に考慮して設定（30分100円）しております。 近年、周辺の駐車場で導入されている長時間割引については、駐車場の利用状況等を踏まえ、導入の可否等について検討したいと考えています。	2
40	建築都市局	■市営住宅について 小規模市営住宅は民間払い下げを推進し集約して効率化を図るべきです。建替の場合、居住者の建替承諾、家賃優遇措置を前提としていれば、行政が遅延し、公共の利益が損なわれるのではないのでしょうか。	1	本市では、市営住宅の既存ストックの有効活用を図るとともに、老朽化した市営住宅の計画的な建替えや統廃合を行っています。 市営住宅は住宅に困窮する低額所得者に、公営住宅法に基づき、低廉な家賃で住宅を供給するものであり、建替えにおける入居者の取扱いについても、入居者の意見を反映するよう努めることや家賃の低減等が定められています。	3
41	建築都市局	■老朽建築物の建替について 老朽建築物の建替時には必ず保存の声が出ますが、公共施設の新しい目的（災害時の避難場所、物資の保管）を考えると保存には疑問がありますし、最新の耐震建物の方が安心できます。	1	老朽化した市有建築物について、建替や改修工事により更新を行っています。 建替、改修工事のそれぞれに利点があることから、個々の施設ごとに老朽化や使用状況、維持管理や更新に係る費用等を踏まえ、建替を行うのか、改修工事を行うのかを判断しています。 耐震補強が必要と判断した施設は、計画的に耐震改修工事を行っています。	2
42	保健福祉局・財政局	■福祉について 福祉の内容をもっと充実してほしい。高齢者に対して優先的に税金を予算化してほしい。	4	すべての市民がお互いを尊重しながら、安全で住みやすく、信頼できる地域をともに作る「地域主義」を基本として、本市ならではの「地域包括システム」の構築を目指し、地域の実情やニーズに応じたきめ細やかな施策を推進します。 特に高齢者福祉につきましては、市民の代表や学識経験者の皆さんからのご意見を伺いながら、平成27年度から平成29年度における高齢者施策の基本計画となる「第四次北九州市高齢者支援計画」を策定しました。 この計画では、①【健やか】いきいきと生活し、積極的に参加できるまち、②【支え合い】高齢者と家族を見守り支え合うまち、③【安心】住み慣れた地域で安心して暮らせるまち、を目標としています。 この計画に基づき、高齢者のみなさんが健康を維持しながら幅広く活躍できるよう、また、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で継続して生活できるよう、各種施策を推進してまいります。	1

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
43	保健福祉局・子ども家庭局	<p>■保健福祉局、子ども家庭局の予算について</p> <p>保健福祉局と子ども家庭局の一般会計予算の増額は、国の指針である「まちづくり、人づくり、仕事づくり」など、消費税増収分を活用した社会保障の充実・安定化への対応を見据えての状況であることをしっかりと確認させてほしい。</p>	1	<p>「消費税率上げによる増収分は、全て社会保障の充実・安定化に向ける」という国の方針を踏まえ、本市においても社会保障の充実・安定化を図ります。</p> <p>消費税の引上げについては、平成29年4月まで延期されましたが、国の平成27年度予算では、子ども・子育て支援の「量的拡大」、「質の改善」として約5,100億円の財源が充当されることとなっており、こうした国の方針を踏まえ、待機児童解消のための施設整備の拡充や、施設職員の処遇改善、職員配置の改善などに努めてまいります。</p> <p>また、国民健康保険においては、社会保障・税の一体改革による消費税の増収財源を活用し、低所得者等への保険料の負担軽減や財政基盤の強化を図っており、介護保険についても、今回の介護保険制度の改正において、消費税による公費を投入した「低所得者の第1号保険料の軽減強化」を図っています。</p>	1
44	環境局・消防局・危機管理室	<p>■環境・防火・防災関連の予算について</p> <p>環境・防火・防災に関する局の予算減は、既に対策は十分ということでしょうか。</p>	1	<p>【環境について】</p> <p>環境局の平成27年度予算は、水素社会や地域エネルギーの拠点化といった新たに取り組む事業とともに、「北九州モデル」の本格的な海外展開や中国諸都市の大気汚染対策、また市民環境力の強化や快適で安心できる生活環境の確保など、従来からの事業についても、局全体で予算を見直し最適化を図った上で、必要な予算額を計上しているところです。</p> <p>【防火、防災について】</p> <p>消防局の予算額が前年度と比べて約29億円の減となっている主な理由は、平成26年度の臨時的な経費である「消防通信指令システム更新事業（約32億円）」の整備完了によるものであり、消防局では「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」という使命のもと、防火をはじめ各業務の遂行にあたって、必要な予算計上を行っています。</p> <p>また、危機管理室の予算額が前年度と比べて約2億円の減となっている主な理由は、平成26年度の臨時的な経費である「防災行政無線高度化事業（約2億円）」の整備完了によるもので、災害時に一斉に通報が可能な同報系の防災サイレン・スピーカーの整備を行いました。防災に関しては、様々な災害の教訓や新たな知見、またこれまでの取り組みを踏まえ、必要な予算計上を行っており、今後とも「災害に強いまちづくり」に向けて、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでまいります。</p>	2

3 暮らしを彩る

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	建設局	<p>■JR安部山公園駅周辺整備について</p> <p>JR安部山駅周辺をきれいにしてほしい。バリアフリーのまちづくりの推進をさらに推進してもらいたい。</p>	1	<p>JR安部山駅周辺では、跨線橋の歩道拡幅やエレベーター設置を進めております。安全安心で快適に暮らせる身近な生活空間づくりとして、歩道のバリアフリー化を推進しております。</p> <p>安全安心で快適に暮らせる身近な生活空間づくりとして、歩道のバリアフリー化を推進しております。主要駅周辺、通学路などにおいてもバリアフリー化の取り組みを引き続き進めてまいります。</p>	2
2	建設局	<p>■歩道橋の撤去について</p> <p>歩道橋は段々無くなってとてもよいと思いますが、まだ、残っている所があるのでなるべく早く、路上横断が出来るようにお願いします。車に乗れない高齢者が階段を登るのは大変です。足も痛いし上がらないし困ります。</p>	1	<p>横断歩道橋は交通量の多い交差点や通学路等において児童や歩行者の安全確保を目的に設置されたものです。横断歩道橋の撤去については、地元の方々、学校、警察など関係者と協議し、安全性が確保でき、交通処理場も影響が無いなど、可能なものについて撤去しております。</p>	2
3	建設局	<p>■道路について</p> <p>住宅地（枝光等）の道路整備をしてほしい。道が狭く救急車両等が通れないところがあります。</p>	3	<p>地域の声を聞きながら、地域ニーズに対応した身近な生活道路の環境整備や維持補修等を推進しております。地域内の道路の拡幅にあたっては、周辺の交通量、用地取得の可能性、道路整備にかかる費用対効果などを勘案して、実施を判断いたします。具体的な要望については、自治会を通じて、お住まいの区役所まちづくり整備課に要望をお願いいたします。</p>	2
4	建設局	<p>■道路交通システムについて</p> <p>道路の通行量に応じて歩行者信号の待ち時間が変動するシステムを導入してほしい。</p>	1	<p>通学路の安全対策、歩行者の安全確保を目的に歩車分離信号の導入が進んでおります。なお、信号制御については、信号を管理する警察が交差点部の交通量を基に設定しております。</p>	4
5	建設局	<p>■公園整備について</p> <p>家の近くには、古くてゴミが散乱した公園しかないので、子供を安心して遊ばせられる公園を増やしてほしい。</p>	1	<p>新たな公園を整備するには多額の予算が必要となることから、市としては、既存の公園を活用した再整備を推進しています。</p> <p>また、公園内のゴミの散乱や施設の不具合等につきましては、各区まちづくり整備課までご連絡下さい。</p>	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
6	建設局	■公園整備について 戸畑区の各校区に公園を整備してほしい。	1	校区における公園整備では、平成20年度から「地域に役立つ公園づくり事業」を進めています。 具体的には、小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して地域ニーズにあった公園に改修していく事業です。 これまで、市全体で26校区において計画づくりを行い、順次、公園整備を行ってきました。戸畑区では、大谷校区、鞘ヶ谷校区、中原校区で実施してきたところです。 今後も引き続き、老朽化の進んでいる公園の多い校区などを優先的に毎年2校区程度で計画策定を行っていく予定です。	2
7	建設局	■バリアフリーの推進について バリアフリーのまちづくりをさらに推進してほしい。	1	安全安心で快適に暮らせる身近な生活空間づくりとして、歩道のバリアフリー化を推進しております。主要駅周辺、通学路などにおいてもバリアフリー化の取り組みを引き続き進めてまいります。 また、公園では、誰もが安全で快適に利用ができるよう、出入口や通路において、段差をなくすなど計画的に改修しています。 階段や傾斜のある通路では、手すりを設置しています。 公園トイレを設置する場合は、誰もが分かりやすい場所に設置し、高齢者や車いすの方も円滑に利用できるように、少なくとも1箇所、多機能便房を設置するようにしています。 今後も、快適に暮らせる身近な生活空間となるようバリアフリーのまちづくりを推進していきます。	2
8	建設局	■公衆便所について 公衆便所は洋式にしてほしい。	1	近年、高齢化社会の到来や、子供たちを含めた生活様式の変化から、市内における公園トイレの洋式便器の設置は、要望などを踏まえ、適宜、改修に取り組んでいます。 改修の基本的な考え方として、地域にある身近な公園で比較的面積の小さな公園では、地元の方（公園愛護会、自治会等）からの要望や、既存のトイレの構造上、和式から洋式の便器に改修が可能な場合、1箇所改修できることとしています。 また、新たにトイレを整備する場合は、便器の様式は、地元の方からの要望などを踏まえ、決定しています。 また一方で、広域的な利用を想定した比較的、面積の大きな公園のトイレは、新たにトイレ整備する場合は、最低1箇所を洋式便器にしています。 今後も、トイレの整備においては、地元の方の要望等を踏まえながら、取り組んでいきたいと考えています。	2
9	市民文化・スポーツ局・教育委員会	■公共トイレについて 図書館などの公共トイレに、小さくても良いので、バックなどを置く棚又はフックをつけて欲しい。	1	最近整備された図書館などでは、個室トイレに荷物置き台、フックを設置していますが、他の図書館ではトイレ内のスペースに制限があり、荷物棚等の取り付けは難しい状況です。 なお、文化施設では、一部の施設を除き、トイレにフックを取り付けています。 また、本市の公園トイレについては、条例等バリアフリーの基準に即して整備しており、ご提案の棚等につきましては、トイレを新築・改築する際には設置するようにしています。 今後も、改修等を行う際には市民にとってより利用しやすいトイレとなるように対応していきたいと考えています。	2
10	保健福祉局	■野良猫対策について 枝光地区は野良猫が増え続けているので対策をしてほしい。	1	野良猫に無責任に餌を与える方に対して注意指導を行っています。 猫を外飼している飼主に対して室内飼育するよう指導を行っています。 地域猫活動（飼主のいない猫を地域で適正に管理することで人にも猫にも住みやすい環境をつくる活動）の支援および避妊手術を実施しています。	2
11	建築都市局	■スタジアムの運営について 小倉駅新幹線口に建設予定のサッカーを含む競技場の建設費用が将来的に無駄にならないよう、計画的な運用をしてほしい。	1	スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すコンサートやイベントの開催など、幅広く多目的な利用を計画的に行い、施設稼働率を高めるような運用に努めます。	1
12	建築都市局	■スタジアムの建設について サッカー場の建設には反対です。	1	スタジアムの整備は、平成22年に構想を発表して以来、市民や議会の意見を伺うとともに、2回の公共事業評価の手続きを実施するなど、多くの議論を積み重ねながら検討を進めてきました。このような取り組みを踏まえ、平成25年に整備着手を決定、昨年、公募により事業者を選定したのち、本年4月、工事に着手しました。 また、スタジアムは、ギラヴァンツ北九州のサッカー専用施設ではありません。都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合に加え、小中高生のサッカー・ラグビー大会、コンサートの開催やグラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放など、幅広く市民の皆様にご利用いただくことを想定して整備するものです。 スタジアムの整備を進めるには、市民の皆様のご理解が不可欠であると考えています。今後も、説明内容の充実を図りながら丁寧な説明に取り組んでいきたいと考えています。	3

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
13	市民文化・環境局・産業経済局	■東田地区の施設について 東田地区には不要と思われる施設が目立つと思います。	1	東田地区は、日本の近代製鉄発祥の歴史を伝えるとともに、世界の環境首都のモデルとなる環境と産業が共生するまちづくりを進めています。この一環として、産業科学、自然史・歴史、環境をテーマとする「SHINE博物館構想」にもとづき、文化機能の集積を図っています。 「いのちのたび博物館」は質の高い企画展・特別展の開催等を通じて、生命の進化の道筋を自然と人の両面から展示解説しており、年間50万人近い来館者がある本市を代表する賑わいの拠点施設です。昨年7月には「家族で行きたい恐竜・化石博物館」ランキングで全国第2位に選ばれるなど大変高い評価を頂いており、今後とも皆さまに愛され親しまれる博物館であり続けられるよう創意工夫を行ってまいります。 また、環境ミュージアムは「北九州博覧祭2001」の環境パビリオンを活用して開設し、日本の近代産業発祥の地である東田地区で、産学官民が一体となって公害を克服した本市の環境の取組みの歴史を継承しています。この経験をもとに本市は様々な取組みに挑戦していますが、その原動力は市民の皆さんの環境力であり、環境ミュージアムは、市内唯一の学習・情報発信・活動の総合拠点として、一人ひとりが環境を意識し、環境にやさしい行動を起すきっかけとなる大きな役割を担っています。 北九州産業技術保存継承センター（北九州イノベーションギャラリー）は、「未来につながる新たなイノベーションを生み出せる人材を育てること」を目的として、平成19年4月に開館し、ものづくり技術の継承や新たな産業技術等を学ぶ機会を多くの方へ広く提供しています。ものづくりのまちとして日本経済を牽引し、発展してきた北九州市にとって、ものづくり技術の継承や新たな技術を学べる、イノベーションをテーマとした国内唯一の施設として、その独自性、魅力を高める各事業を展開していきます。	2
14	建築都市局	■空家対策について 老朽化した空家等の対策をしてほしい。	1	空き家等の問題に対しては、平成26年3月に策定した「北九州市空き家等対策基本指針」や「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、対策を総合的に推進することとしており、老朽空き家等について、除却費用の一部補助等を行います。 また、対策を計画的に推進するため、法に基づく空家等対策計画を策定します。	2
15	上下水道局	■水道について 経過期間を設け、集落と離れた住戸への上下水道サービスを中止し、市民平均の上下水道料金を還付してはどうか。弱者は救済しなければいけません。費用がかかり過ぎては他の市民に対し不公平です。	1	水道の整備については、水道法に基づき地形や集落の状態を考慮して設定した給水区域（水道水を供給する区域）を対象に、経済性や効率性など現地の個々の状況を踏まえ、工事を行っています。 また、下水道の整備については、地形条件をもとに経済性や効率性等を総合的に勘案のうえ、整備する区域を設定し工事を行っています。 上下水道は、市民生活に直結した公共インフラであります。本市としては、今後も公益性と経済性の両面を考慮した事業を実施することにより、県内で一番安価な上下水道料金を維持していきたいと考えております。	3
16	市民文化局	■自治会について 自治会について、もっと分かりやすく、若い方にも魅力が伝わるようなPRをしてほしい。また、町内会の活動等が少なく、人も少なくなっている気がする。若い人が参加するような町内会になるようにしてほしい。	2	自治会は、本市とともに「住みよいまちづくり」に取り組む地域コミュニティの中心的な団体であるため、自治会と連携しながら、自治会の重要性や活動の理解促進、自治会の取り組み加入促進活動の支援、及び自治会組織の強化に向けた支援に取り組む、自治会活動の活性化を図ってまいります。	1
17	市民文化・保健福祉局	■ボランティア活動について ボランティア活動に補助をしてほしい。	1	本市では、NPOや市民団体が行う地域の課題解決につながる事業等に対し、経費の一部を補助しています（まちづくりステップアップ事業、NPO公益活動支援事業、環境未来都市推進支援事業）。 また、市民の地域福祉活動を推進することを目的に、北九州市地域福祉振興基金を有効に活用して、市内のボランティア団体等の実施する地域福祉事業への財政支援等も行っています。 このほか、社会福祉協議会と連携し、ボランティアや市民活動を支援する人材育成のための研修等を実施しているところです。 今後も、関係団体と連携しながら、こうした支援を通じて、市民みんなの力で取り組むまちづくりを推進していきたいと考えています。	2
18	市民文化局	■地域総括補助金制度について 制度の導入から十余年が経過している「地域総括補助金制度」について、事業の趣旨等について検証する必要があるのではないのでしょうか。	1	平成23年度に行ったまちづくり協議会会長アンケートでは、地域総括補助金導入により、「各団体が連携して一体となって地域課題へ取り組めるようになった。」「会計の明確化や情報公開が促進された」などの評価を頂いています。 一方で、構成団体にそのまま補助金を渡すだけで、補助項目間の「流用」実績が少ないなどの課題があり、地域がより使いやすい補助金の仕組みづくりについて検討を進めています。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
19	市民文化スポーツ局	<p>■市民センターについて 予算要求の基本的な考え方の中で、市民文化スポーツ局は、「人に優しく元気なまちづくり」や「地域コミュニティの強化」、「市民と行政が協働・連携していくための仕組みづくり」を掲げているが、まちづくりを支える人材育成が市民センターの館長養成に終わってしまっていないか危惧している。管理業務を担う人材の質の向上にも適切な指導をしてほしい。</p> <p>また、市民センターの管理運営を託された地域のまちづくり協議会役員や館長のスキルアップを図るための十分な研修予算の確保が望ましい。現場の館長が意欲を注げる職場環境づくりへの行政支援を切に願います。</p>	2	<p>市民センターにおける住民主体の地域づくりを促進するためには、地域活動を担う人材育成が必要であり、まちづくり協議会の役員をはじめ、市民センター館長や職員に対する研修の充実を図るとともに、地域団体が主体的に行っている人材育成の取り組みを支援しています。</p> <p>また、区コミュニティ支援課において地域の実情に応じた主体的な活動の支援に取り組んでいます。</p>	2
20	保健福祉局	<p>■高齢者の居場所作りについて 高齢者が気軽に遊んだり集まったりできる場所をもっと作ってほしい。</p>	1	<p>年長者いこいの家は、地域の高齢者の交流の場として、重要な施設と認識しています。</p> <p>今後、公共施設のマネジメントにおける、市全体の公共施設のあり方を検討していく中で、将来的なあり方を検討していく予定です。</p>	3
21	保健福祉局	<p>■高齢者問題について 社会参加が難しくなった高齢者への配慮を行政でお願いしたい（買い物支援ネットワークなど）。</p>	1	<p>買い物支援については、地域・事業者・行政などが参加した「買い物支援ネットワーク会議」の開催、地域協働による買い物支援などの取組みを通して、地域住民と事業者、支援者をつなぐ体制の強化を図り、高齢者が安心して買い物できる環境づくりを進めてまいります。</p>	2

4 いきいきと働く

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	産業経済局	<p>■雇用について 北九州市での雇用形態が安定するような企業への働きかけ、助成を考えてほしい。正規雇用率を上げて、働きたい人がちゃんと能力発揮できるような職業環境をつくってほしい。</p>	2	<p>企業向けセミナー等を通じ、正規雇用への転換に対する国の助成制度の紹介や、働きやすい労働環境づくりについての普及・啓発を図ります。</p>	1
2	産業経済局	<p>■雇用について 雇用を増やし賃金増につなげてほしい。</p>	1	<p>本市では、「北九州市新成長戦略」において、産業振興による本市経済の活性化を通じて、多くの市民が働くことができる雇用機会の創出に取り組んでいます。合わせて、本市の強みを生かした付加価値の高い産業の振興に取り組んでいきます。</p>	1
3	総務企画局・産業経済局	<p>■女性の就労について 女性の働く場を増やしてほしい。</p>	1	<p>本市では、就職や再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成を支援し、幅広い分野で女性が働きやすい環境の整備を図るための施策を実施しており、男女を問わず、子育てや介護等と仕事の両立の実現に向けた環境の整備を進めるため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する広報・啓発を行っています。</p> <p>また、「北九州市新成長戦略」において、産業振興による本市経済の活性化を通じて、若者、女性など多くの市民が働くことができる雇用機会の創出に取り組んでいます。具体的にはサービス産業など、雇用吸収力の高い産業の振興に取り組んでいきます。</p> <p>今後も、女性が活躍する社会づくりを進めてまいります。</p>	1
4	産業経済局	<p>■Uターン対策について 若者のUターン対策を充実してほしい。</p>	1	<p>本市へのU・Iターン就職希望者へ、地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を目的とした「U・Iターン促進事業」を実施してきました。</p> <p>さらに若年人材等の地方への還流を促進するため、平成26年度3月補正予算で新たに首都圏への案内窓口設置・出張相談を行います。</p>	1

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
5	産業経済局	■就農支援について 若者の就農に力を入れて欲しい。	1	本市では、若者の就農を促進するため次のような取り組みを行っています。 【農業者の相談窓口の明確化】 農業経営の課題や問題等について、東・西農政事務所と相談を受け付けています。 【農業研修の実施】 就農を希望する方に、栽培技術や農業経営を習得を目指し、1年間、毎週土曜日、5名程度の集合研修や農家に1ヶ月程度通って学ぶ実践的な研修を行っています。 【農業経営を開始にかかる支援】 国が行っている「青年就農給付金制度」を活用し、新たに農業を始めた方の支援を行っています。 【ビニールハウス・農業機械等の導入支援】 農業経営の向上に必要なビニールハウスや農業機械等の導入に対して、融資や助成の制度を設けています。	2
6	経済局 産業局	■産業誘致について 工場団地の優遇措置を公表し、積極的に産業誘致に尽力してほしい。	2	すでに市内産業用地への進出企業に対する優遇制度をホームページやパンフレットなどで公表しております。引き続き、本市への企業誘致を積極的に推進してまいります。	2
7	産業経済局 ・ 財政政局	■企業誘致等について 北九州市はまだ景気が上向いていないので、公共工事を増やすのと同時に企業誘致に力を入れるとともに地場産業強化にも予算を使ってでも力を入れてほしい。	1	本市では、地域製造業の競争力強化や雇用の更なる改善、市民所得水準の改善などを目指して「北九州市新成長戦略」に基づき、「地域企業が元気に活動し続ける環境整備」や「地域企業の成長と新たな企業立地による高付加価値ものづくりクラスターの形成」に取り組んでいます。 また、公共事業につきましても、国の公共事業の伸び（0.0%）や地方財政計画における投資的経費の伸び（0.0%）を上回る事業量となる、対前年度比35億円、5.7%増の651億円を確保しました。	1
8	産業経済局	■企業誘致について 企業誘致に民間から集めた人材を使うべきです。公務員では無理ではないでしょうか。	1	本市では民間企業トップのOBを顧問や参与等に迎え、助言等を受けながら効果的な企業誘致に努めています。	4
9	経済局 産業局	■中小企業支援について 中小企業への支援をしてほしい。	1	資金繰り支援等により中小企業の経営安定化に万全を期すとともに、技術力・販売力の向上の支援に積極的に取り組み、事業拡大や持続的発展を支援しています。	2
10	産業経済局	■商店街振興について 商店街に元気を取り戻すための施策を増やすことで、元気のある北九州市にしてほしい。	1	本市では、従来から、商店街の各種計画の策定をはじめ、賑わいづくり、街路灯等の共同施設の整備、空き店舗の活用等への支援を行うことで、商店街の活性化に取り組んでいます。 平成26年度3月補正予算に、国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、商店街等が実施するプレミアム付商品券の発行を支援する「プレミアム付商品券発行支援事業」を実施することで、個人消費を喚起し、商店街を始めとする地域経済の活性化を図ります。	1
11	産業経済局	■商店街振興について 高齢者が多い地区の商店街を参考に、商店街を充実させることで、高齢者が住みやすいまちづくりをしてほしい。	1	本市は政令市の中でも高齢化が顕著であることから、市内には、買い物が困難な高齢者のための共同宅配事業の実施、商店街への休憩所の設置などの高齢者に配慮した取り組みを行っている商店街があります。 本市では、従来から、そのような商店街に対する支援に取り組んでおり、今後も、商店街をはじめとする関係者とも協議しながら、高齢者に配慮した商店街の取り組みを支援していきたいと考えています。	2
12	産業経済局	■観光事業について 観光事業に注力してほしい。	1	平成26年度に策定した「北九州市観光振興プラン」では「近い将来『北九州市に観光に行こう！』と言われる観光都市になる」ことを目指して6つの戦略に基づき69のアクションプランを展開していきます。 まずは、本市ならではの観光資源を市内外の方にも知ってもらえるよう、観光情報を簡単に検索できる「観光ポータルサイト」を作成するなど情報発信を強化し観光客の増加を図ります。	1
13	産業経済局	■都心部の集客について 飲み屋街で働いているが、警察が多い等のためかとても静かでにぎわいがなく淋しい感じがします。	1	本市は昨年6月に「都心集客アクションプラン」を策定し、都心部の集客交流促進に向けた取組を実施しています。	2
14	建設局	■動く歩道の維持管理費について 小倉駅の動く歩道は維持管理費がかなりかかっているのではないかと心配している。もったいないので不要な整備はしないでほしい。	1	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を図り、快適な歩行空間の確保に努めております。 小倉駅新幹線口には、西日本総合展示場、国際会議場や漫画ミュージアムなど集客施設があり、多くの方にご利用頂いております。また、スタジアムの建設も始まり、新幹線口で生みだしたにぎわいを都心全体のものにぎわいにつなげる重要な施設であると考えております。	4
15	産業経済局	■血倉山のビジターセンターについて 血倉山頂のビジターセンターは冬場の利用は少なく不便であり、かつセンターで行っている行事は他で代行可能なので、取り壊すべきではないでしょうか。	1	「血倉山ビジターセンター」事業は、旧国民宿舎施設の約半分（RC3階建、延床面積約921㎡）を活用し、血倉山頂を訪れた市民や観光客へ、血倉山の奥深い自然の魅力を紹介するとともに、休憩や天候の急変時の避難場所としても利用するなど、血倉山の賑わいづくりのために設置されたものです。 年間約2万3千人（平成26年度）の来館者もあり、血倉山には今後も必要な施設と考えております。ご理解ください。	4

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
16	産業経済局	■脇田フィッシャリーナについて 脇田フィッシャリーナの管理棟は廃止すべきです。利用が少なく、自主管理にすべきではないでしょうか。	1	脇田漁港フィッシャリーナは、プレジャーボートと漁業との海面利用の調整を図り、トラブルを防止するとともに、漁港漁村における市民のふれあい・交流を促進する目的で市が整備しました。今回ご意見をいただいた管理棟（交流棟）では、係留するプレジャーボートの関連業務をはじめ、市民に対する海の環境保全の学習の場を提供するとともに、周辺海域における漁業に関する説明会やプレジャーボートの安全講習会等を開催してきました。今後とも、市民を対象とした魚食普及のイベント等を通じて漁港漁村の交流拠点として多くの市民の方にご利用いただけるよう利用促進を図ってまいります。	4
17	産業経済局・ 財政局	■空地の活用について 他県に工場をもつ友人は北九州市は固定資産税が高いためとなり町に工場を建てたいです。市内の空地をもっと少し有効活用できないでしょうか。	1	空地の有効活用については、市が管理する産業団地の未分譲地や民間の未利用地などへの積極的な企業の誘致など、今後も引き続き取り組んでいきます。 また、公共での利用が見込めない未利用市有地を一般競争入札等により、積極的に売却するとともに、売却までの間は、一時貸付を行なうなど、土地の有効活用を図っています。平成24年度からは、未利用市有地を無償で地域の自治組織等に貸し出し、花壇や菜園に活用していただく「ふれあい花壇・菜園事業」を実施するなど、新たな取組みも行なっております。 なお、固定資産税については、地方税法に基づく適正な課税に努めています。土地に係る固定資産税は、地価公示価格等を参考に価格を決定し、その価格を基に税額を算定するため、土地の所在する場所によって税額に違いが生じますことはご理解ください。なお、家屋については日本全国どこに建っていても税額に違いは生じません。	2

5 街を支える

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	建設局	■道路について 道路の側溝破損したりつまっている箇所があるので修繕等をしてほしい。	2	道路の異常箇所の把握は、生活環境パトロールなどで実施しておりますが、地域の方からの通報も安全な道路環境の維持に不可欠です。 ご意見いただいた側溝の修繕やつまりについては、現地を調査し、状況に応じて修繕や清掃等を検討いたします。具体的な箇所等は、各区のまちづくり整備課に連絡をお願いします。	2
2	建設局	■道路について 道路の排水機能が弱く冠水しているところがあり（メディアドーム付近など）、大雨のときなど外出できないので修繕してほしい。	1	道路の異常箇所の把握は、生活環境パトロールなどで実施しておりますが、地域の方からの通報も安全な道路環境の維持に不可欠です。 ご意見いただいた排水機能の不良については、現地を調査し、側溝の清掃などを検討いたします。具体的な箇所等は、各区のまちづくり整備課に連絡をお願いします。	2
3	建設局	■歩道について 八幡西区萩原団地にタイルの歩道があり雨の日に滑るので対応してほしい。	1	道路の異常箇所の把握は、生活環境パトロールなどで実施しておりますが、地域の方からの通報も安全な道路環境の維持に不可欠です。 ご意見いただいた歩道の修繕については、現地を調査し、損傷具合に応じた修繕を検討いたします。具体的な箇所等は、各区のまちづくり整備課に連絡をお願いします。	2
4	建設局	■道路整備について 競馬場裏あたりの河川沿いの道路について歩道となっている板ばりが腐って通行止めになっているため早急に整備してほしい。	1	ご指摘の件は、志井川のウッドデッキのことかと存じます。いただいたご意見を踏まえ、早急に検討を行い、必要に応じ対策を講じてまいります。	2
5	建設局	■街路樹について 道路沿いの街路樹について桜の散った後や秋の落ち葉が雨どい等に詰まって困るので処理をしてほしい。	1	街路樹は、騒音の低減などの生活環境の保全と良好な景観の形成を目的として、植えられております。樹木の剪定などを定期的に実施し、適正な維持管理に努めてまいります。	2
6	建設局	■交通混雑について 黒崎駅周辺の交通混雑をなくしてほしい。	1	黒崎駅周辺の交通混雑を解消するため、国道3号黒崎バイパスの整備が進んでいます。黒崎バイパスの整備は、八幡及び黒崎周辺の交通混雑の解消、交通安全の確保を図るとともに、北九州都市高速道路等と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成し、北九州港等の物流拠点へのアクセス性を向上することにより産業の活性化を支援する道路です。国土交通省北九州国道整備事務所が工事を推進しており、早期完成に向けて国への要望等を継続して実施しております。	2
7	建設局	■黒崎バイパスについて 黒崎バイパスを延ばしてほしい。	1	国道3号黒崎バイパスは、八幡及び黒崎周辺の交通混雑の解消、交通安全の確保を図るとともに、北九州都市高速道路等と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成し、特定重要港湾北九州港等の物流拠点へのアクセス性を向上することにより産業の活性化を支援する道路です。国土交通省北九州国道整備事務所が工事を推進しており、早期完成に向けて国への要望等を継続して実施しております。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
8	建設局	■道路整備について 3号線と199号線のアクセスをよくしてほしい。	1	国道3号と国道199号をつなぐ道路として、砂津長浜線の整備を進めております。JR軌道によって分断されている小倉駅南北の円滑な交通処理、小倉都心部の通過交通を排除を目的として整備しております。	2
9	建設局	■道路整備について 若松西部（ひびきの方面）に都市高速を通して欲しい。黒崎バイパスや若戸大橋まで行くのにかなり混雑し時間がかかります。	1	本市の都市高速道路は、北九州都市圏の道路ネットワークにおいて、市街地の渋滞緩和や物流機能の強化に大きく寄与する重要な道路です。現在、都市高速道路の整備は概ね完了しており、若松西部地区への延伸計画はありません。 市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化を図るため、主要幹線道路の整備を進めております。また、交差点部の交通混雑を解消するため、交差点改良などにも取り組んでおります。	2
10	建設局	■道路について 大蔵～七条の三車線は意味がない。	1	ご意見頂いた道路（都市計画道路3号線）の整備は、小倉都心と黒崎副都心のアクセス強化を図り、バリアフリーの歩道による安全で快適な歩行空間を提供する重要な事業です。また1日約1,000台のバスが通行する主要なバス路線であり、道路整備はバスの定時制確保にも寄与しております。	4
11	建築都市局	■道路整備について 基本的に大型箱物はもういりません。下関・北九州道路は不要です。	1	関門地域においては、経済、産業、観光など、様々な分野で協力し合うことが必要であり、交流や連携の強化を支援する広域道路ネットワークの形成は重要であると考えています。 関門橋と関門トンネルは、事故や老朽化に伴う維持補修等による通行止めにより、周辺道路の渋滞が発生しており、老朽化への対策等を考えることが重要です。 また、両道路はほぼ同一の位置にあり、この地域で災害等の緊急事態が発生すると、長期に亘って交通が寸断される可能性があり、このような大動脈の代替機能を確保する必要もあります。 このため、整備に必要な調査の実施や具体的な方策の検討、予算の確保などを国に求めています。 今後も、下関北九州道路の早期実現に向けて、様々な方法で国への働きかけを行ってまいります。	3
12	建築都市局・交通局	■学研台の交通について 学研台に住んでいるのが交通の便が悪く困っています。	1	本城学研台につきましては、利用者の利用実態を勘案し、現在、概ね、1時間に1本程度の市営バスの運行を行っております。交通局（市営バス）は、市の組織のひとつではありますが、公営企業として民間事業者と同じく独立採算の下でバス事業を運営しております。バス事業は企業である以上、経営に十分留意する必要があります。また、経営が成り立ってこそ、地域の皆様のお役に立てると考えております。バスの増便については、新築住宅の着工や商業施設の出店等この地域の開発状況等を見ながら、今後のダイヤ改正にあたっての検討事項にさせていただきたいと思っております。 なお、本市では、平成20年に「北九州市環境首都総合交通戦略」を策定し、その中で公共交通の利便性向上を図り、利用しやすい交通体系の構築を目標としております。今後も地域に合った交通体系が構築されるよう、引き続き、市民の皆様には公共交通の利用を呼びかけると共に、バス事業者を含めた各交通事業者と協力し、施策を実施してまいります。	3
13	交通局	■市営バスについて 若松区の路線バス（小石線）は本数が少なくなっているが、年長者の方々が多く小さい車両で良いので運行してほしい。	1	交通局（市営バス）は、市の組織のひとつではありますが、公営企業として民間事業者と同じく独立採算の下でバス事業を運営しております。 バス事業は企業である以上、経営に十分留意する必要があります。また、経営が成り立ってこそ、地域の皆様のお役に立てると考えております。 地域の皆様のニーズに応えることが第一であると認識しておりますが、バス利用者の減少傾向が続くなど、市営バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。 小石線につきましては近年利用者数が減少していることから、現在の運行本数とさせていただいており、今後とも利用実態を基本に採算性も考慮しながら運行計画等を検討させていただきたいと考えております。 また、バスの大きさにつきましては、運送効率を踏まえ、一台の車両が様々な時間帯で様々な路線の運行を行なっている状況から、乗客の多い路線でも対応できるよう基本的には大型バスを多く運用しております。	2
14	交通局	■市営バスについて 市営バスの本数増やエリア充実をして、交通弱者への配慮や支援策などを考えてほしい。	2	交通局（市営バス）は、市の組織のひとつではありますが、公営企業として民間事業者と同じく独立採算の下でバス事業を運営しております。 バス事業は企業である以上、経営に十分留意する必要があります。また、経営が成り立ってこそ、地域の皆様のお役に立てると考えております。 交通弱者への配慮、支援等地域の皆様のニーズに応えることが第一であると認識しておりますが、バス利用者の減少傾向が続くなど、市営バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるため、今後とも利用実態を基本に採算性も考慮しながら運行計画等を検討させていただきたいと考えております。	2
15	交通局	■市営バスについて 市営バスは民間事業者へ売却してはどうでしょうか。	2	市営バスは、旧若松市営バス時代から、80年以上の長きにわたり、市民の足と親しまれております。 交通局（市営バス）は、市の組織のひとつではありますが、公営企業として民間事業者と同じく独立採算の下でバス事業を運営しております。 その一方で、高齢者の方や子ども達等の生活の足を守るため、地域に密着したサービスを提供するとともに、市の施策やイベント等に積極的に協力するなど、市の組織としての役割も果たしております。 また、これまで市営バス存続のための署名も、大変多くの市民の方からいただいております。 現在、バス利用者の減少傾向が続くなど、市営バス事業を取り巻く環境は厳しい中、健全経営を維持し、市民の生活の足としての重要な役割を果たしていくため、「北九州市営バス事業経営計画（平成23年度～平成27年度）」に基づき、様々な取り組みを実施しております。 平成26年11月に「北九州市営バスあり方検討会議」を設置し、これまでの取り組みの評価・検証を行っており、今後の市営バス事業のあり方については、その中で検討を行っていききたいと考えております。	3

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
16	産業経済局	■渡船について 若松から戸畑の中心部へのアクセスが悪いので渡船があると嬉しい。	1	市営若戸渡船は戸畑～若松間を平日1日71便、土日祝日は61便運航しています。戸畑渡場からJR戸畑駅まで徒歩約7分の位置にあります。今後も市民の足となって運航に努めてまいります。	2
17	総務企画局	■観光事業のアピールについて 世界遺産登録推進経費を柱にして市の観光事業の拡大と外国人受入等に対する予算増を図り、観光事業をアピールしてほしい。	1	官営八幡製鐵所関連施設の世界遺産登録は本市の知名度向上やにぎわいづくりにも資すると考えています。そのため、登録に向けた取り組みを進めるとともに、観光部署等と連携しながら、構成資産を含む市内近代化遺産のさらなる観光への活用等を図ってまいります。	2
18	建築都市局	■公共施設の廃止について 公共施設の廃止について、利用者数のみでなく、数多くの人に利用されているかを検討すべきで、特定の人達に回数多く利用されている施設は公営にする必要はないのではないのでしょうか。	1	公共施設マネジメントにおいては、利用者数だけではなく、施設の老朽化の状況、維持管理費用、利用状況等にも留意しながら取り組みを進めます。	2
19	産業経済局、建築都市局	■遊休地の活用について 門司区、八幡東区等の企業が撤退した遊休地を宅地開発して、人が住める居住地として売出し、人口が増えるようにしてほしい。	1	これまで市内の企業遊休地を活用し、快適な居住環境の形成、都市機能の更新、街なか居住の推進を目指して、公共施設と住宅等の整備を総合的に行う住宅市街地総合整備事業を行ってきました。 八幡東区高見地区については、現在も同事業を継続しており、引続き住宅整備が進められており、今後も同様の大規模遊休地が発生した場合、都市計画上の位置づけ、本事業の事業趣旨を考慮し、必要であれば本事業制度を活用した住宅市街地整備を進めていく予定です。 また、企業の未利用地については、企業と連携しながら新たな企業の誘致に取り組んでおります。企業が立地すれば雇用、人口の増加に繋がりますので、今後も引き続き取り組んでいきます。	2
20	港湾空港局	■港湾関係予算について 港湾関係予算を増額してほしい。特に太刀浦地区や新門司地区への整備、投資をお願いしたい。	1	本市では、競争力のある港づくりの推進のために、毎年度、整備計画を基に計画的に港湾整備を行っています。 平成27年度については、太刀浦地区においては老朽化した道路やコンテナターミナルヤードの改良、また、新門司地区においては、高潮被害を防ぐための護岸整備などを重点的に行う予定です。	2
21	建築都市局	■駐車場について 葛原本町周辺に市営の駐車スペースを整備してほしい。	1	現在、市内の駐車場整備については民間事業者による整備を主体とし、交通量の多い都心などに限って市営駐車場を整備しております。 現在のところ、新たな市営駐車場を整備する予定はありません。	3
22	建築都市局	■駐車場整備について 戸畑駅前駐車場（定額1日24時間500～600円）をつくってほしい。	1	現在、市内の駐車場整備については民間事業者による整備を主体としております。ご要望の戸畑駅前については、民間事業者の駐車場で充足していると考えております。	3
23	建築都市局	■市営住宅の駐車場について 市営住宅の駐車場を整備してほしい。	1	市内には昭和40年代、50年代に建築された市営住宅が多く、駐車場が十分整備されていないものがあります。そのため、可能な限り敷地を駐車場として活用できるように、団地入居者と協議を行い、順次整備を進めているところです。	2
24	建築都市局	■八幡西区役所跡地について 八幡西区役所跡地については、公的な施設であった物を移転する前に、跡地利用、施設の有効活用（保育園と老人施設を館内に併設するなど）を考えてほしい。	1	旧八幡西区役所は、本館が昭和49年に建設されたもので、施設の老朽化により使用を継続することが出来なくなったため、建て替えが必要となっていました。 このため、区役所だけでなく西部障害者福祉会館やハローワークなどの公共施設を集約し、市民の利便性向上を図ることを目的として、平成25年5月にJR黒崎駅に隣接するコムシティに移転しました。 区役所跡地については、黒崎地区の賑わいづくりや活性化に必要な定住人口の増加に向け、住宅を基本に生活支援等まちづくりに寄与する活用を条件として民間へ売却することとしています。	3
25	財政局	■公共事業について 公共事業（建築関連など）に力を入れてほしい。	1	公共事業につきましては、国の公共事業の伸び（0.0%）や地方財政計画における投資的経費の伸び（0.0%）を上回る事業量となる、対前年度比35億円、5.7%増の651億円を確保しました。	1

6 環境を未来に引き継ぐ

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	建設局	■貸自転車について 船乗場付近に貸自転車を置いてほしい。	1	環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進しております。 コミュニティサイクル事業は、小倉都心地区、八幡東田地区の2地区で現在実施しております。今後については、当面、貸自転車の需要等が多く見込めるなど、事業効果の高い小倉都心地区において事業の充実を図っていく予定です。	3
2	建設局	■駐輪場について 違法駐車も多いので、戸畑駅北口に有料の駐輪場を開設してほしい。	1	環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進しております。 利用特性に応じたきめ細かな駐輪環境を創出することを目的に、現在、市内の有料自転車駐車を設置している地区や、放置自転車の多い地区について、自転車駐車の利用状況や、放置自転車の状況の実態調査を行い、駐輪場整備のあり方について、見直しを行っているところです。 今後、調査結果に基づき、必要と判断される場合には、駐輪施設の整備について検討していきたいと考えております。	3
3	建設局	■駐車場について 小倉・黒崎などに大型バイク（400cc以上）が利用できる駐車場を整備してほしい。	1	小倉・黒崎をはじめ、市内のJR駅等に設置しております市営の有料自転車駐車場21施設（本城自転車駐車場を除く）と、小倉の市営天神島駐車場では、125ccを超える自動二輪車（側車付を除く）も駐車することができますので、ご利用ください。	4
4	建設局	■道路整備について 自転車利用の際、道路が狭く段差もひどいので不安です。道路を根本的に見直してほしいと思います。	1	環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進しております。 現在、市内の13拠点において、自転車走行空間の整備を行い、そのネットワーク化を推進するとともに、拠点間を結ぶネットワークの整備も進めております。 また、道路の異常箇所の把握は、生活環境パトロールなどで実施しておりますが、地域の方からの通報も安全な道路環境の維持に不可欠です。現地を調査し、損傷具合に応じた修繕を検討いたしますので、具体的な箇所等は、各区のまちづくり整備課に連絡をお願いします。	2
5	環境局	■ごみステーションについて ごみ箱を作してほしい。網はあるが、風で飛んでしまいます。また、ゴミの集積場所が通学路上にあります。	1	ごみステーションは地域で設置、管理を行っており、市は地域での集積容器設置を推進するため、設置費用の補助を行っています。 今後この制度を広くお知らせし、清潔で美しいまちづくりを進めていきたいと考えています。	1
6	環境局	■ごみ出しについて 高齢化に伴い、自分でゴミを収集所にきちんと持っていくことのできない方がいます。ゴミ出し日に道路がゴミで溢れているのを見かけますので、きちんとゴミが出せる制度にしてほしい。	1	ごみステーションに家庭ごみ等を出すことが困難な高齢者等を対象に、自宅の玄関先で収集を行う「ふれあい収集」制度を昨年7月から開始しています。 こうした制度をご活用ください。	2
7	環境局	■ごみ出し場のガラス対策について ゴミ収集におけるガラスの対策はネットではもう無理な状況です。集合住宅のためゴミも多く出し方も悪いのかも知れませんが、かなり困っていますので何か対策をしてほしい。	1	ごみ出しルールの違反者に対しては市が責任を持って指導を行っています。 また、指導やごみステーションに関する相談については、環境センターまでご連絡をお願いします。 ごみ出しのルールやマナーにつきましては、全ての市民の方があらゆる機会を通して理解を深められるよう、広報、啓発に努めてまいります。	1
8	環境局	■市職員によるボランティア清掃について 市の職員も週1回くらいボランティア袋を持って各自のエリアを「ゴミ拾い」してはどうでしょうか。	1	市役所では、「市役所5分間清掃」として、市職員が月1回、昼休みを利用して道路、公園など職場周辺をボランティア清掃しています。 また、地域でのボランティア清掃に関しても一市民として積極的に参加するように今後とも啓発活動に努めていきたいと考えています。	4
9	保健福祉局・環境局	■ごみ拾いについて 海岸線がゴミだらけなので、高齢者によるゴミ拾いを定例化させてはどうか。	1	海岸は、漁港や港湾区域などがあり、それぞれの管理者が、適切に管理することとなっており、市民がごみ拾いをする場合、ボランティア袋を配布し、環境センターを通じて無料でごみの収集をしています。 本市では、市民によるごみ拾いを推進するため、毎年恒例となっている、春の「クリーン北九州」まち美化キャンペーンや秋の「市民いっせいまち美化の日」などにあわせ、道路・公園・河川・海浜の清掃を呼びかけているところです。 しかしながら、高齢者を対象とした各種ボランティアの育成講座や、地域における社会貢献活動に対する支援を行っているものの、そのボランティア活動内容などについて、行政から強制（定例化）することは難しいと考えています。 なお、海岸に漂着する廃棄物については、強酸、強アルカリ性の液体が入ったポリタンクや注射器等、危険なものも確認されていることから、市職員がパトロール及び回収を行っており、市民の方が発見した場合には直接触れず、市にお知らせいただくよう広報しています。	4

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
10	環境局	■環境事業について 北九州市が掲げ実行している「環境にやさしいまち」をさらに推進してほしい。	1	本市は、近代日本のものでつくりをリードしてきた一方で、深刻な公害問題に直面しましたが、市民、企業、行政が一丸となって公害を克服し、青い空や海を取り戻した歴史があり、この過程で培った経験や環境関連技術は、現在の環境モデル都市や環境ビジネスの展開をはじめとする様々な施策の展開へと結びついています。こうした環境に配慮した多くの産業や技術と本市の豊かな自然、また市民の皆様を最大限に発揮しながら、本市は今後も「環境にやさしいまち」の実現に努めてまいります。	4
11	環境局	■北九州市 環境・コミュニティセンターについて 若松区本町二丁目オープンした「北九州市 環境・コミュニティセンター」が、中に入りづらい印象があります。また内装の改築費用などの予算の使い方、額の大きさに驚いています。	1	「北九州市 環境・コミュニティセンター」は、本市の環境の取組みの情報発信や地域コミュニティの拠点として開設しました。本施設では、環境学習サポーター（ボランティア）の方に活動していただいております。施設内に人が居ることで、様々な印象があると思います。市といたしましても、頂戴いたしましたご意見を参考にさせていただき、少しでも多くの皆様お気軽にお立ち寄りできる施設運営をしたいと考えております。改築費用については、内装工事費用・モニター等のハード面の費用・タッチパネルによる環境の取組み等紹介作成等ソフト面の費用があり、本施設を整備する上で必要な経費であったと考えております。	4
12	環境局	■ていたんのグッズについて 「ていたん」「ブラックていたん」のグッズを「北九州市 環境・コミュニティセンター」で配っているそうですが、年長者はもらえないのですか。	1	「北九州市 環境・コミュニティセンター」でお渡ししているグッズに関して、年齢等の制限を設けているものではありませんが、数に限りがありますので、無くなることも考えられます。その際にはご理解いただきますようお願いいたします。	4

7 アジアの中で成長する

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	環境局	■環境問題について 環境問題に関する北九州市としての支援策について、いち早く取り組んでもらい北九州市民でよかった。今後も環境問題への取り組みを続けてほしい。	1	ご評価いただきありがとうございます。本市では昨年度より、PM2.5等の大気汚染への対策として中国諸都市と都市間連携協力事業を実施しており、今後も継続的に取り組んでいく予定です。	1

8 その他

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	市議会事務局	■政務調査費について 政務調査費についても市民にわかりやすく明らかにしてほしい。	1	政務活動費の使用用途の適正化を図るために運用マニュアルを定め、実際に支出した金額の総計を記載した収支報告書、支出の根拠となる領収書等を公開しています。制度の概要、運用マニュアル、収支報告書については、市議会ホームページでも公開しています。（法改正により、政務調査費から政務活動費となりました。）	2
2	市議会事務局	■議員削減による市財政への影響について 議員削減は市の財政に影響がありますか。	1	「北九州市議会基本条例」では、議員定数等については、議会の監視機能、調査機能及び政策立案機能の確保を考慮するとともに、他の地方自治体の状況、社会経済情勢等を踏まえて定めることとなっています。議員定数を削減することとした場合、議員報酬や政務活動費等の経費が軽減されることとなります。	4
3	市議会事務局	■市議会について 市議会の常任委員会の議事録をインターネットで見られるようにしてほしい。	1	常任委員会の議事録は、会議経過の音声記録と会議の概要を記した書面によって作成しており、市議会事務局のほか、中央図書館、地区図書館及び文書館で公開しております。議事録をインターネットで公開する場合には、使い勝手のよいものにするための新たな経費が必要となります。以上のことから当面は窓口での公開を続けていきたいと考えております。	3
4	産業経済局	■競輪、競艇事業について 競輪、競艇事業の収支は黒字でしょうか。赤字であれば、思い切った対策が必要ではないでしょうか。	1	競輪、競艇特別会計は、発売金等の収入により独立した事業運営を行っており、近年は、一貫して黒字が続いております。この収益の中から、これまで約1,500億円もの繰り出しを行っており、市の一般施策に活用されています。今後も、安定した事業運営に努め、市の財政に寄与したいと考えております。	4

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
5	産業経済局	■競輪事業について ハイビジョンシアター門司は、売上げが低迷していると思われしますので、民間に売却してはどうでしょうか。	1	ハイビジョンシアター門司については、現在のところ一定の収益が確保できており、競輪、競艇特別会計の安定した経営に貢献しているところである。 今後も、収益の確保に努め、特別会計の経営に寄与したいと考えております。	3
6	市民文化スポーツ局 総務企画局	■街づくりについて 市民が住みよい街を目指してほしい。	1	本市では、これまで以上に都市の魅力を高めていくことが重要だと考えています。そのためには、オール北九州で地方創生などを推進することで、若者・女性がいきいきと活躍できる社会づくり、子どもを産み育てやすい環境づくり、安全・安心を実感できるまちづくりなどに総合的に取り組み、誰もが「住んでみたい、住み続けたい」と考えるまちの実現を目指してまいります。 また、北九州市安全・安心条例に基づき、「行動計画」を策定し、政令市の中でトップ3に入る安全な都市を目指して、さまざまな事業を総合的かつ計画的に展開していき、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりに向け、地域の「見守りの目」の拡大を図り、市民や事業者、学生等の自主防犯活動の活発化を図ります。また、防犯の視点も加えた道路や公園等のモデル事業や防犯カメラの設置促進など、安全・安心な環境の構築を図ります。	1
7	総務企画局	■市職員について 市職員はしっかりしてほしい。	1	職員の指導育成については「人材育成基本方針」を定め、目指すべき職員像や求められる資質を明確にするとともに、人事制度や研修の趣旨・目的、今後の方向性を体系的に示し、人事部門・研修部門・各職場が一体となって推進しています。今後もこの方針に従い、市民の期待に応えられる職員となれるよう、努力してまいります。	4
8	総務企画局	■市職員の給与等について 給与や退職金の額の見直しをしてほしい。	1	職員の給与については、市内民間給与を踏まえた北九州市人事委員会勧告などに沿って、適正な給与水準を確保しているところです。 また、職員の退職手当制度については、従来から国の制度に準じているところです。 今後も、市の職員の給与については、適正な水準となるよう努めてまいります。	3
9	総務企画局	■職員数について 職員数が多すぎると思う。	1	職員数は、業務の見直しや民間委託によって削減を進める一方、市の成長戦略や市民ニーズが高い分野には重点的に人員を配置しています。 現在の人員体制も、社会経済情勢等を適時適切に判断したものであり、今後もきめ細やかな職員定数の管理を行ってまいります。	4
10	総務企画局	■市職員の人材育成等について 研修を通して公務員としての自覚を持ち、責任感、使命感、倫理感を備えた人材を登用し、育成してほしい。	1	職員への研修にあたって「公務員としての高い能力と倫理観を持ち、自ら学ぶ職員の育成」「広い視野と、市民や民間と協働するための必要な知識・技術の修得」などの方針に従い、職場研修だけでなく、外部講師を招いての職場外研修や、自己啓発など多面的に実施しております。併せて、勤務成績が良好でない職員に対する能力向上の取組みも実施しているところであり、今後とも、職員の人材育成に努めてまいります。	2
11	総務企画局	■市職員の意識について 市の保有する施設を指定管理者制度やボランティア活動等に頼り、市職員には悲壮感がない。	1	指定管理者制度は、管理費の削減やサービスの向上を目的として民間事業者による業務委託を行うものですが、市としても事業者任せにするのではなく、施設の効率的且つ効果的な利用方法について事業者とともに考え、運営管理を行っています。 これからもボランティアの皆様や民間事業者とともに、市の保有する施設等をより良いものにしていきたいと考えております。	4
12	市民文化スポーツ局	■出張所について 区の出張所が中継地点になっており、地域を把握していません。	1	区の出張所は、専門性の高い相談を除く、各種手続きや証明書交付を行う窓口として設置しています。 地域における要望や課題（軽易なものを除く）の把握、地域団体との連携・調整などについては、市役所及び区役所の職員が地域の各種会合等に参加するなど、積極的に取り組んでいます。	4
13	市民文化スポーツ局	■コピー機について 役所内にコピー機を設置してほしい。	1	コピー機の設置については、設置コストとの採算性を考慮し、十分な使用量が見込まれることが必要になりますが、現状では区役所の各種手続きで複写が必要なものは必ずしも多くはないと考えています。 また、民間のコピー機も多いことから、民業圧迫にならないような配慮も必要であり、現在のところは設置しておりません。	3
14	市民文化スポーツ局	■区役所の駐車場について 自動交付や時間外にとれるものがあっても駐車場があいてないのでは意味がない。	1	本市においては、市民サービス向上のため、区役所開庁時間外でも住民票の写し等の交付を受けることができる証明書自動交付機を、各区役所及び一部の出張所に設置しております。 証明書自動交付機を利用することができる時間帯は、基本的に区役所・出張所の駐車場又は敷地内の駐車スペースを利用できます。（八幡西区役所、戸畑区役所では、有料駐車場の割引制度があります） ご意見については、各区役所に伝え、時間外の駐車場利用方法について、よりわかりやすい案内に努めてまいります。	4
15	市民文化スポーツ局	■門司区役所について 門司区役所に公衆電話をつけてほしいです。また、洋式トイレも1階、2階に一つずつしかなく不便です。	1	公衆電話は、市民の皆様のニーズもあることから、設置について現在検討中です。 また、区役所庁舎の整備については、経年劣化の状況や利用される方々のご意見を踏まえながら、緊急性の高いものから順次取り組んでいるところです。 今後とも、市民の皆様が利用しやすい区役所を目指してまいります。	3

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
16	スポーツ文化局	■八幡東区役所について 八幡東区役所のトイレにジェットタオルを設置してほしい。また、別館にエレベーターを設置してほしい。	2	区役所庁舎の整備については、経年劣化の状況や利用される方々のご意見等を踏まえながら、緊急性の高いものから順次取り組んでいるところです。 今後とも、市民の皆様が利用しやすい区役所を目指してまいります。	3
17	スポーツ文化局	■八幡東区役所について 八幡東区役所の入口・出口とも坂・階段で不便なので、手すりをつけるなど工夫してほしい。	1	八幡東区役所は高低差のある場所に立地しているため、ご利用される方々のアクセス負担軽減のため、区役所敷地内、正面玄関前の階段に手すりを設置しております。 今後とも、市民の皆様が利用しやすい区役所を目指してまいります。	4
18	スポーツ文化局	■八幡南出張所について 八幡南出張所のテレビは不要だと思う。	1	区役所・出張所のテレビは、市民サービスの一環として、市民の皆様が各種手続きの待ち時間を快適に過ごしていただくため、また、市政情報や災害情報などをいち早くお伝えするために設置しています。ご理解をお願いいたします。	4
19	建設局	■ほたる課について ほたる課はいらないと思う。	1	本市にはほたる課はございませんが、建設局水環境課に「ほたる係」がございます。 平成4年に設置されたほたる係では、市内2箇所のほたる館の運営や、ほたる愛護団体への支援等を行っており、現在は40を超えるほたる愛護団体が活動しています。 今後とも、ほたるを通じた河川愛護の啓発や地域コミュニティ活動を支援していきたいと考えております。	4
20	保健福祉局	■年金について 年金を納めているが、将来的には少しずつ減額されていくので、受給するときにはいくら支給されるかわからない。	1	公的年金は、国が運営している制度で、主に現役世代の納める保険料によって、高齢者の年金給付を賄うという、世代間扶養の仕組みで成り立っております。 少子高齢化を踏まえ、国におきましても、年金給付のあり方について様々な議論がなされているところですが、ご意見いただきました内容につきましては、制度の運営主体ではない本市が回答できる立場ではありませんので、ご理解ください。	4
21	財政局	■年金への課税について 年金に対する課税の限度をできるだけ引き下げてほしい。	1	年金に対する課税方法については、所得税法や地方税法により、課税内容が適正かつ公平になるよう定められています。 市税は本市が様々な行政サービスを行ううえで大切な財源となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	4
22	財政局	■市県民税について 市県民税が高い。	1	市県民税は、地方税法に基づき課税しており、その税額は、個人個人の所得の金額に応じて公平な負担となるよう定められています。 市税は、本市が様々な行政サービスを行うために必要な財源となっておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。	4
23	財政局	■税金の使い方について 税金を大切に使うしてほしい。	1	平成27年度予算では、厳しい財政状況の中、行財政改革大綱に基づき、必要性や緊急性、費用対効果などを勘案しながら歳出の削減に努め、より一層の事業の「選択と集中」を図りながら財源を捻出しました。 その捻出された財源を、高齢・少子対策、新成長戦略など平成27年度予算における重点的に取り組むべき5つの柱に重点配分し、「人にやさしい活力あふれるまち」の創生に向けた取組みを推進していくこととしています。 今後も引き続き、本市の将来の発展や喫緊の課題に対応していくため、より一層の事業の「選択と集中」を図るとともに、不断の行財政改革に取り組んでいきます。	2
24	建設局	■道路工事について 1～3月の道路工事が目立ちます。国の補助金を全額執行しようとするような仕組みはよくないと思います。不要な工事はせずお金を残し、翌年度の必要経費にあてるべきではないでしょうか。	1	道路事業の実施にあたり、工事に伴う交通規制などでご迷惑をおかけすることがありますが、年度末に工事が集中しないように事業の計画的な執行に加え、コスト削減に取り組み、早期完成に努めてまいります。	4
25	市民文化建設局・スポーツ局	■曾根豊岡地区公園事業について 曾根豊岡地区公園事業の事業目的である多目的グラウンドは、学校グラウンドで代替可能ではないでしょうか。また、各区に多目的グラウンドを作る必要はないのでしょうか。	2	本市の東部地区には、大規模なスポーツ大会等の開催が可能な目的グラウンドが不足している状況にあります。 大会を行うためには、学校のグラウンドでは面積が狭く、困難な状況です。	4
26	建設局	■曾根豊岡地区公園事業について 自然環境を表題にするのであれば全部を植栽すればランニングコストも低く自然が蘇り環境都市にふさわしいのではないのでしょうか。	1	整備にあたっては、曾根干潟の自然環境を身近に親しむことができるような施設を検討しています。そのため、できるだけ多くの方々に公園を利用していただきたいと考えており、公園の全部に植栽することは困難ですが、公園の一部には環境首都に相応しい植栽をするエリアを考えています。	2

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
27	市民文化スポーツ局	■大規模大会について 大規模スポーツ大会は全市的に何回開催され小倉南区では何回計画しているのでしょうか。	1	多くの市民がスポーツへの関心を高め、「みる」スポーツのニーズを引き出した り、スポーツに取り組みきっかけの創造や高度なレベルの技術に触れることにより 個々の競技力を向上させる目的で、国際大会や全国規模の大会の誘致を進めていま す。 今後も、北九州メディアドームや西日本総合展示場の活用や備品・施設の整備等 も進めつつ、(公財)北九州市体育協会や(公財)西日本産業コンベンション協会 等の関係機関との協力を強化し誘致を進めます。 また、現在、国際交流の推進や地域に大きな経済効果等をもたらすラグビーワ ールドカップ2019等の大規模国際大会における試合会場やキャンプ地の誘致を、官 民一体となり全市を上げて進めています。 本市における国際大会や全国大会の、平成26年度の開催件数と平成27年度の開 催予定件数は以下のとおりです。 【平成26年度】 ・国際大会 2件 ・全国大会 15件 (うち南区での開催0件) 【平成27年度】(予定) ・国際大会 2件 ・全国大会 20件 (うち南区での開催1件)	2
28	市民文化スポーツ局	■グラウンド整備について 若松にサッカーができるグラウンドを整備してほしい。	1	現在若松区に新規にサッカーグラウンドを整備する予定はありません。既存の施 設をご紹介しますのでこちらをご活用ください。 【若松球技場】 ①住所：若松区響南町5番 ②広さ：サッカー1面 ③利用時間：9時から21時 ④利用料金：1面800円/時 ⑤夜間照明：1面500円/30分 【ひびきコスモス運動場】 ①住所：若松区向洋町15番1号 ②広さ：サッカー4面 ③利用時間：9時から18時(日没まで) ④利用料金：1面800円/時	3
29	市民文化スポーツ局	■スポーツ事業について スポーツ事業に力を注いでほしい。	1	平成23年度に策定した北九州市スポーツ振興計画に基づき、「ライフステー ジに応じたスポーツ機会の創造とスポーツを通じた元気なまちづくりの推進」を基本 理念に定め、スポーツを「する人」、「みる人」、「創る人・支える人」に着目 し、スポーツによる青少年の健全育成や地域コミュニティの再生・活性化の礎とな る「市民の豊かなスポーツライフの形成・定着」を目指して事業を進めています。 具体的には、 (1)生涯・競技スポーツの普及・振興 (2)学校体育等の連携・充実 (3)スポーツによるまちの活性化 (4)指導者の育成と有効活用 (5)スポーツ施設・情報基盤の整備 の5つの柱に沿って着実に事業を展開しています。 今後の主な事業としては、 (1)ラグビーワールドカップ2019や2020東京オリンピック・パラリンピック 等の大規模国際大会等のキャンプ地や試合会場誘致を目的とした、「大規模国際大 会誘致事業」 (2)本市の魅力発信とまちのにぎわいづくりやスポーツ振興を目的とした、「北 九州マラソン」 (3)体育館棟と武道場棟の建築工事の本格化や、庭球場・駐車場など外構工事に 着手するとともに、平成28年度の供用開始に向けた準備を開始する、「戸畑D街 区スポーツ施設整備事業」を実施します。	2
30	市民文化スポーツ局	■運動施設について 気軽に利用できる運動施設があれば利用したい。	1	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民 生活の形成に資するため、体育館、運動場など市内各所にスポーツ施設を整備して おります。施設使用料も安価なためお気軽にご利用ください。 また、北九州市立のスポーツ施設は、下記HPでご確認ください。よろしくお願 いいたします。 http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisetsu/menu06_0031.html	4
31	建設局	■駐車場について 公園などに駐車スペースをもっと増やしてほしい。	1	本市における公園の駐車場整備の考え方では、広域的な利用を想定した比較的、 面積の大きな公園に駐車場を設置しています。 一方、地域にある身近な公園は、歩いて利用することを想定しているため駐車場 を設置していません。 今後も、駐車場整備については、大きな公園を対象として公園の利用状況も踏ま えながら、取り組んでいきたいと考えています。	4

No.	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
32	建設局	<p>■公園の看板について 「ねこにエサをあげないで」の看板をもっと多く公園等に置いてほしい。</p>	1	<p>公園は、市民の皆さんにとって貴重なオープンスペースであり、公園での禁止行為などの利用者への注意喚起の看板設置については、最小限にとどめることを基本としています。</p> <p>公園での野良ねこ等へのエサやりを直接禁止する規定はありませんが、公園にねこを居つかせることや食べ残しのエサを放置すれば公園の汚損につながるなどから、公園管理上も好ましいことではないと考えています。</p> <p>また、公園での動物へのエサやりについては、ねこ以外にもハトへのエサやりなどもフン害による公園の汚損につながる場合があります。</p> <p>こうしたことから、ご要望の「ねこにエサをあげないで」の看板設置については、必要性を検討のうえ個々に対応していきたいと考えていますので、公園を管理する区役所まちづくり整備課にご相談いただければと存じます。</p>	4
33	広報室・財政局	<p>■広報について 個人宛の案内等はできる限りなくし市政だよりを利用してほしい。</p>	1	<p>各種案内や広報チラシ等の印刷物につきましては、常に目的・数量・配布先等を検討し、必要に応じて印刷物の整理を行うなど、積極的な改善に努めており、今後ともこの取組みを進めてまいります。</p> <p>また、市政だよりは平成26年度から、8頁だった15日号を1日号同様12頁構成とし、新たに暮らしと健康に役立つ保健福祉情報を紹介する「保健福祉面」や「ギラヴァンツ情報」、「世界遺産」などの連載コーナーを設けるなど、紙面の充実を図ってまいりました。</p> <p>今後とも、市政の重要な施策・事業をはじめ、市民の皆さまに役立つ情報の掲載に努めて参ります。</p>	4
34	財政局	<p>■広報について 民生委員をしています、催し物の際にいただくパンフレットがダブっていることが多く印刷費等が無駄だなあと思うことがあります。</p>	1	<p>本市の印刷物の発行につきましては、常に目的・数量・配布先等を検討し、必要に応じて印刷物の整理を行っております。今後も積極的な改善に努めてまいります。</p>	2
35	上下水道局	<p>■水道事業について 世界・地域に貢献する上下水道、安全で安心なまちを支える上下水道、環境未来都市を推進する上下水道、安心しておいしく飲める水道事業をさらに推進してほしい。</p>	1	<p>上下水道事業においては、「北九州市水道事業中期経営計画」（平成23～27年）及び「北九州市下水道ビジョン」に基づき、世界・地域に貢献する上下水道、安全で安心なまちを支える下水道、環境未来都市を推進する上下水道、安心しておいしく飲める水道の実現のため、浸水対策、地震対策をはじめ、海外における技術協力などにも積極的に取り組んでいます。</p> <p>今後も、これまで蓄積した技術やノウハウを活かし、積極的に各種事業に取り組み、お客さまに信頼される上下水道を目指してまいります。</p>	2